

## 小規模企業景気動向調査 [2025年3月期調査]

～前月からの持ち直しを見せるも、先行きが不透明な小規模企業景況～

### <産業全体>

3月期の産業全体の景況は、売上額・業況DIが小幅に上昇し、採算・資金繰りDIはわずかに上昇した。前年同月比では全てのDIが下回っており、景気回復の兆しはあるもののその歩みは緩やかであり、本格的な回復にはなお時間を要する状況である。季節的要因や4月以降の値上げを見越した駆け込み需要などから売上が増加した業種がある一方で、米国の関税引き上げによる影響を懸念するコメントも複数寄せられた。

	DI	2月	3月	前月比
売上額		4.9	8.2	3.3
採算	▲	17.6	▲ 17.0	0.6
資金繰り	▲	14.7	▲ 14.2	0.5
業況	▲	15.0	▲ 12.8	2.2

### <製造業(食料品、繊維、機械・金属)>コスト高に加え、米国の関税引き上げの影響が懸念される製造業

製造業は、売上額・業況DIがわずかに低下し、採算・資金繰りDIは小幅に低下した。食料品関連は、売上額DIのみ小幅に上昇した。原材料価格の上昇や節約志向もあり、採算が悪化傾向であるとのコメントが目立つ。機械・金属関連は、全てのDIが低下したなか、繊維関連は、全てのDIが上昇した。車両部品製造業など、海外輸出製品の製造業においては、米国の関税引き上げにより先行きが不透明であり、減産傾向となっているとのコメントも見受けられた。

	DI	2月	3月	前月比
売上額		8.4	7.8	▲ 0.6
採算	▲	18.2	▲ 21.5	▲ 3.3
資金繰り	▲	13.5	▲ 16.7	▲ 3.2
業況	▲	16.3	▲ 17.6	▲ 1.3

### <建設業>価格転嫁が進むものの、人手不足により業況回復への道のりは遠い建設業

建設業は、資金繰りDIがわずかに低下、売上額・採算DIはわずかに低下し、業況DIは不変であった。仕入価格の上昇に対しては、価格転嫁ができてきているとのコメントがある一方で、支払いと入金サイクルのギャップによる資金繰りに苦慮しているとのコメントも見受けられた。また、年度末需要により受注量が増えている事業者がいるなかで、労働力不足が浮き彫りになっている。建設コストの上昇に伴い従業員の新規雇用が困難をきわめており、生産性向上や業務効率化を検討しているとのコメントも一部あった。

	DI	2月	3月	前月比
売上額		13.4	12.1	▲ 1.3
採算	▲	11.4	▲ 13.0	▲ 1.6
資金繰り	▲	13.1	▲ 13.8	▲ 0.7
業況	▲	8.9	▲ 9.1	▲ 0.2

### <小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)>新生活需要や駆け込み需要により業況改善を見せた小売業

小売業は、売上額・採算DIが大幅に上昇、採算・資金繰りDIは小幅に上昇した。業種別DIにおいても、全業種の全てのDIが上昇する結果となった。新生活の準備や季節の変わり目による需要や、4月以降に値上げされる商品への駆け込み需要が各DI上昇の要因として挙げられる。仕入価格上昇に伴う価格転嫁が進む業種もあるなかで、節約志向による買い控えが懸念され、移動販売やオンライン対応といった消費ニーズの変化への対応が求められている。

	DI	2月	3月	前月比
売上額	▲	2.0	6.4	8.4
採算	▲	25.5	▲ 20.3	5.2
資金繰り	▲	18.9	▲ 16.7	2.2
業況	▲	21.6	▲ 17.3	4.3

### <サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)>全業種で売上額がプラス値となったサービス業

サービス業は、売上額・業況DIが大幅に上昇、採算・資金繰りDIは小幅に上昇した。サービス業についても、小売業と同様に全業種の全てのDIが上昇する結果となった。春休みや行楽、卒業・入学シーズンということもあり、旅館業や理・美容業において業況が好転した。クリーニング業については、気温の変動により例年よりも需要に遅れが生じている事業者もある。小売業と同様に消費者の節約志向が高まるなか、季節的ではなく、継続的に売上を確保できるサービスの確立に取り組む事業者が増えている。

	DI	2月	3月	前月比
売上額	▲	0.2	6.4	6.6
採算	▲	15.6	▲ 13.2	2.4
資金繰り	▲	13.2	▲ 9.7	3.5
業況	▲	13.1	▲ 7.2	5.9

#### 調査概要

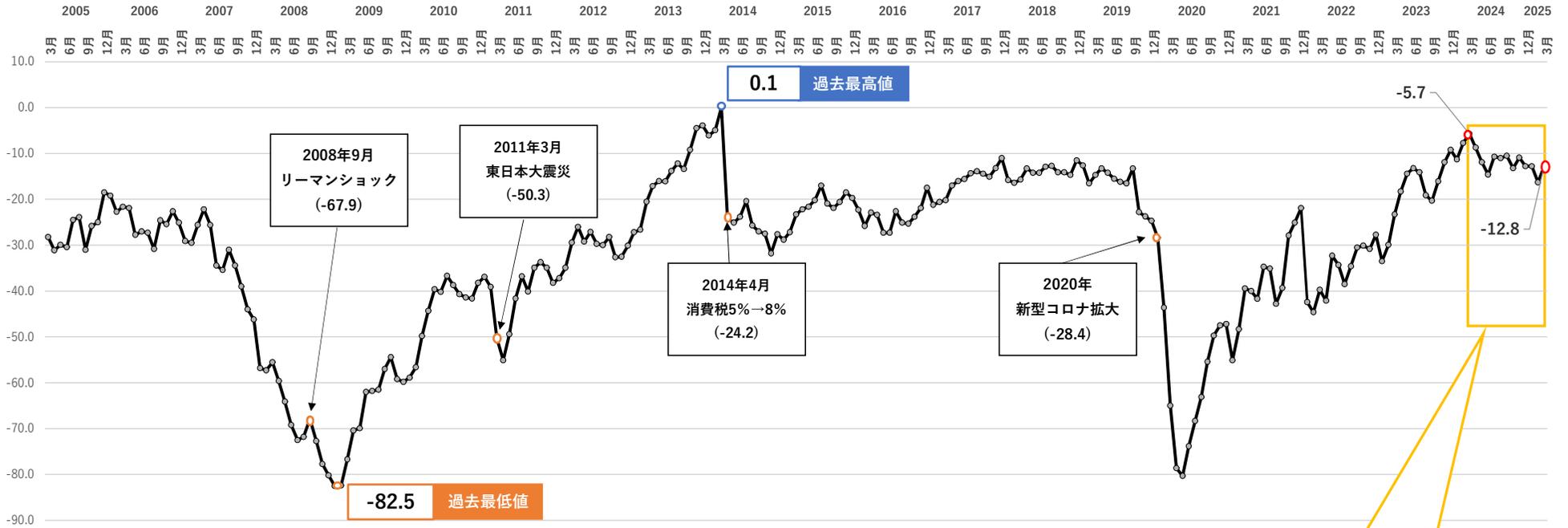
・調査対象：全国303商工会の経営指導員(有効回答数：220/回答率72.6%)

・調査時点：2025年3月末

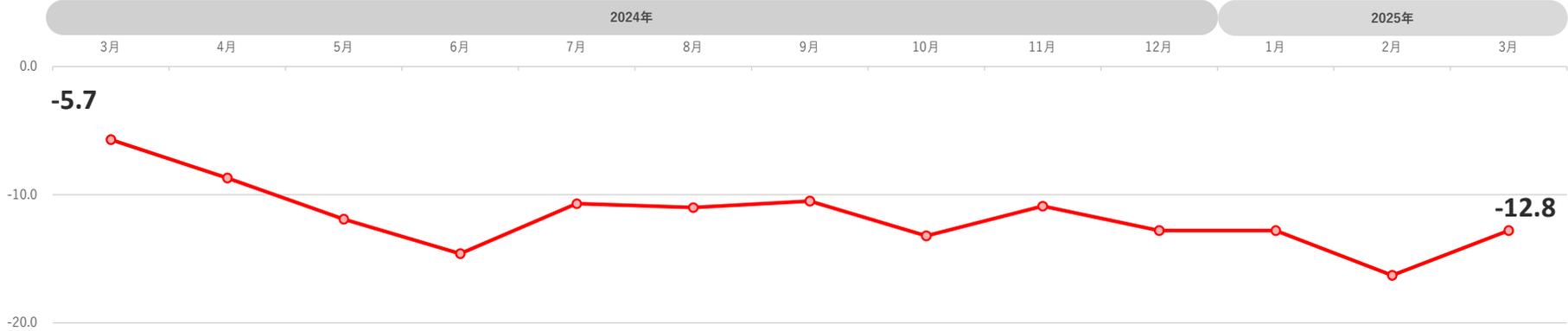
・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

# 小規模企業景気動向調査 産業全体の業況DIグラフ～過去20年のトレンド～

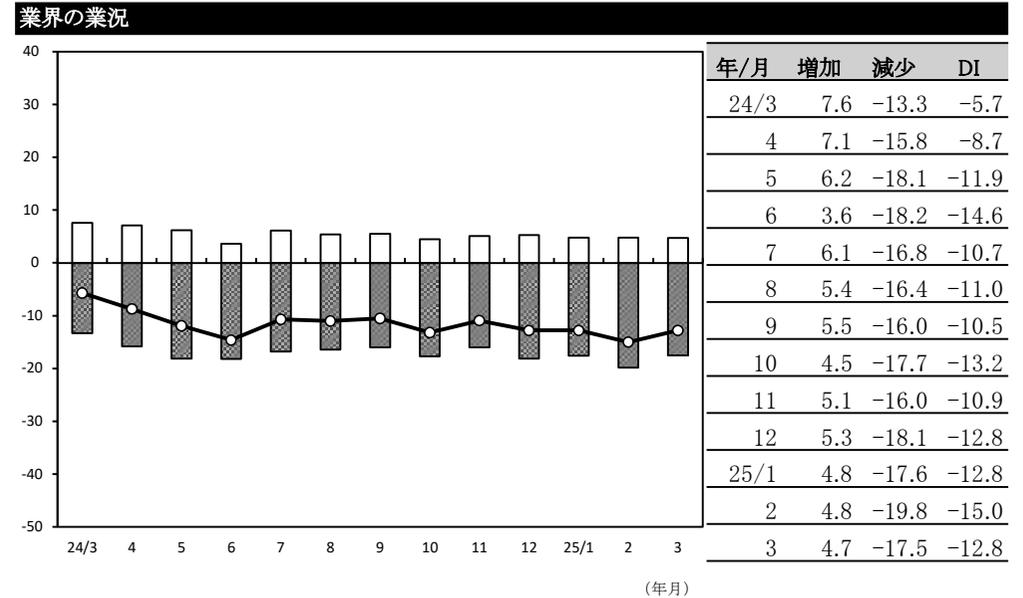
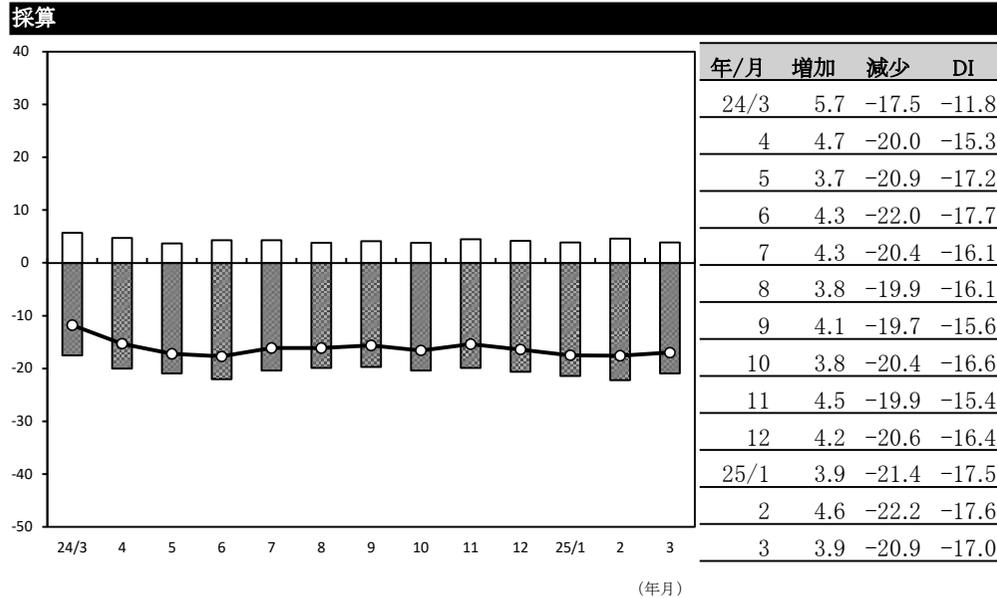
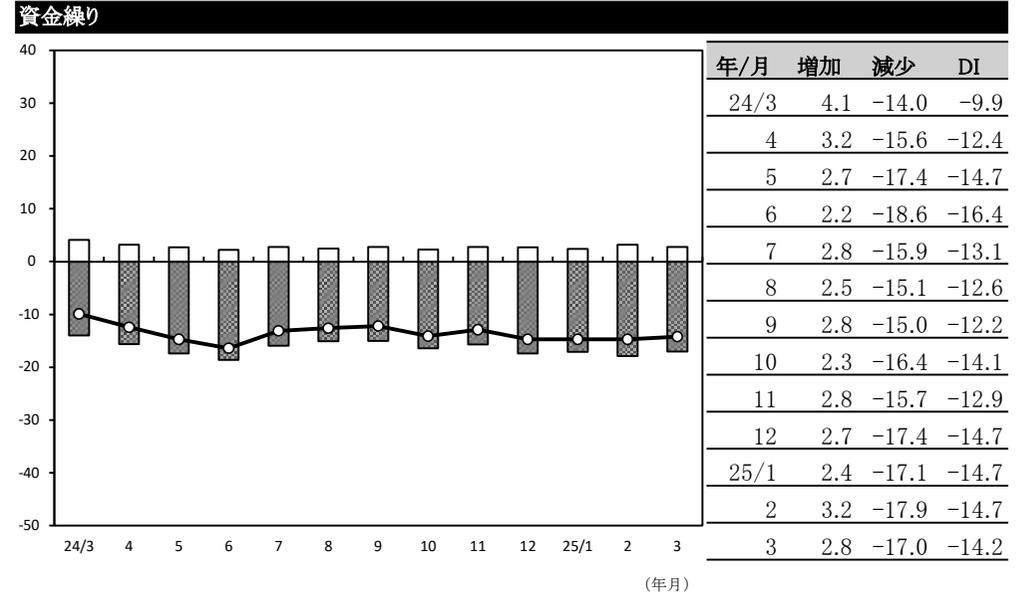
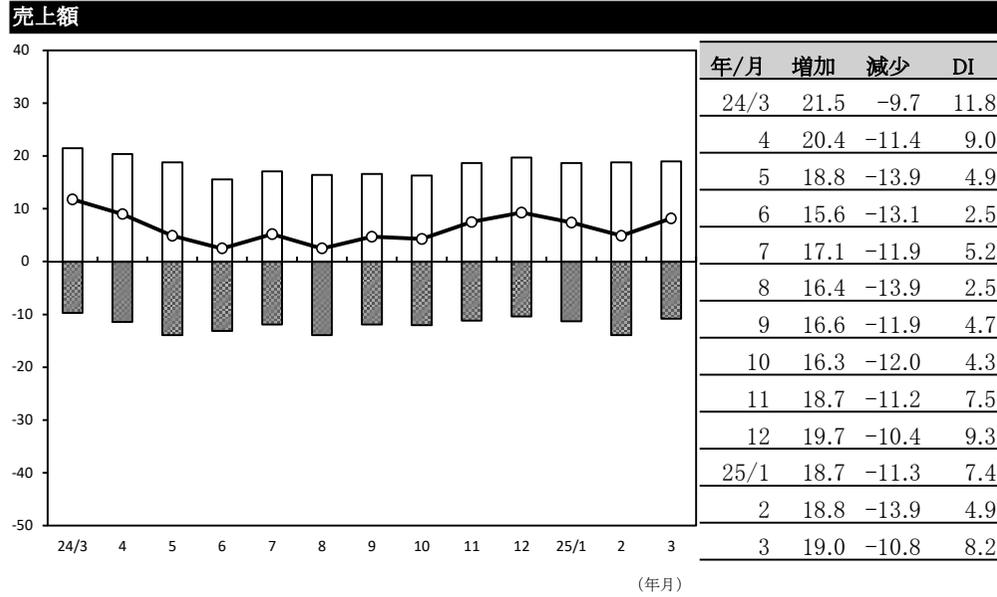


## 産業全体の業況DIグラフ～直近1年間～

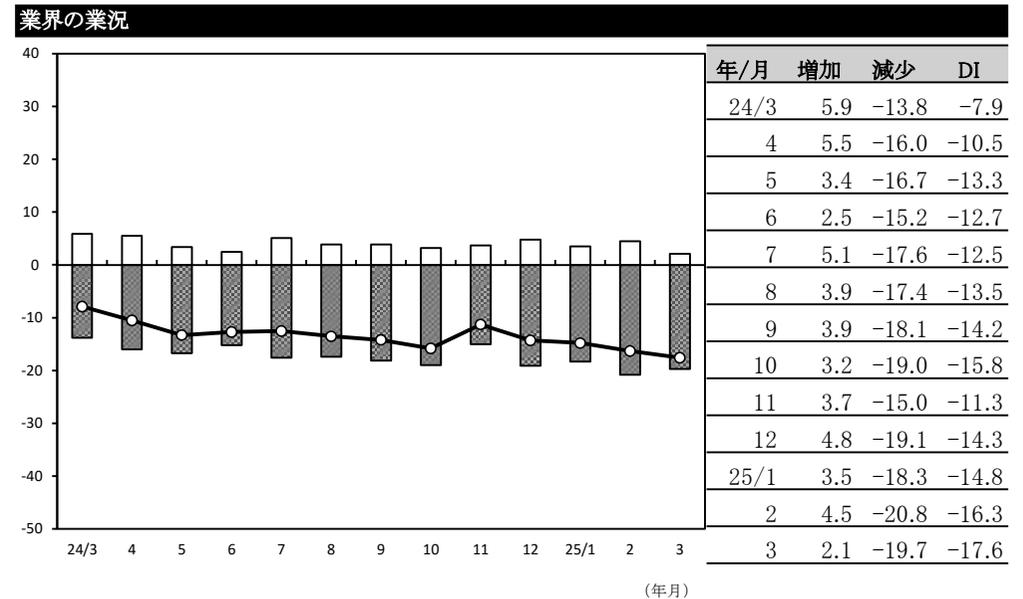
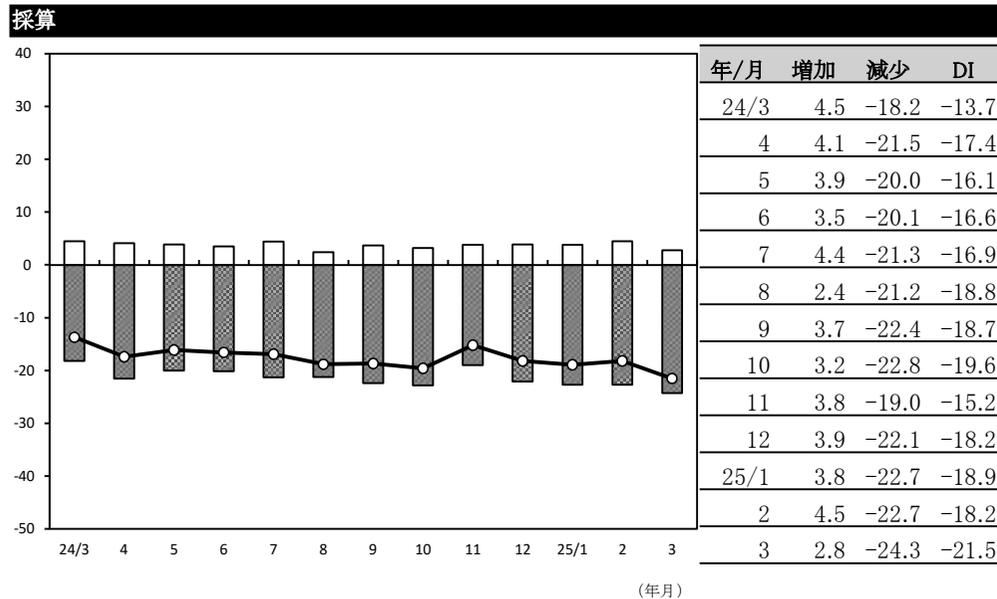
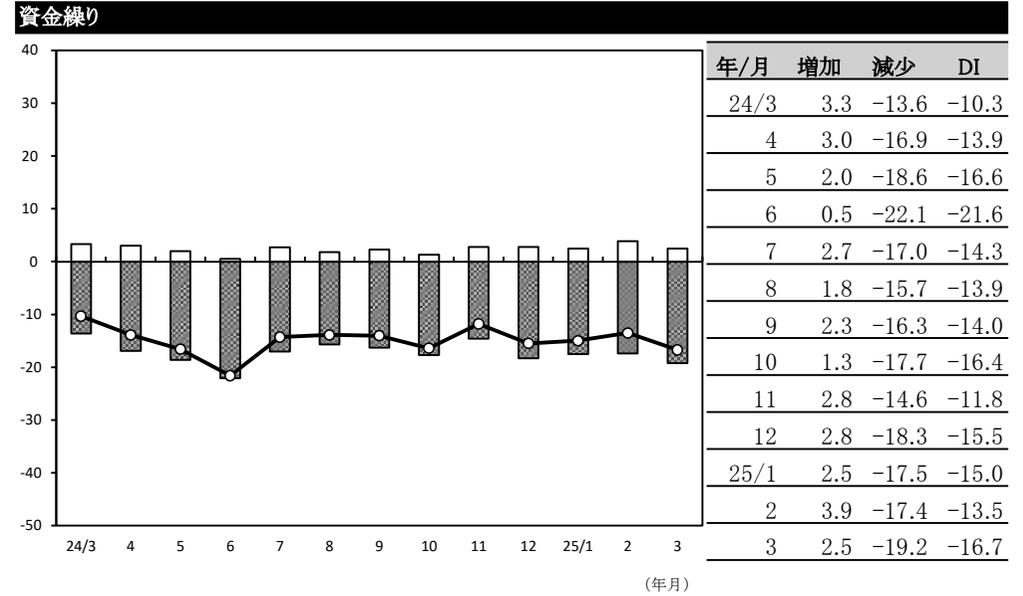
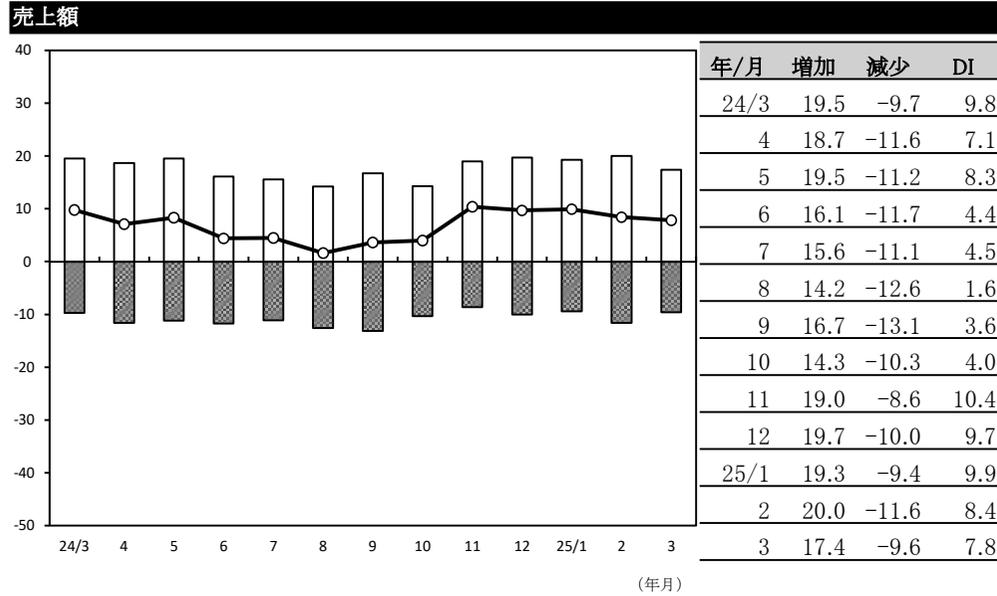


# 小規模企業景気動向調査(2025年3月期)

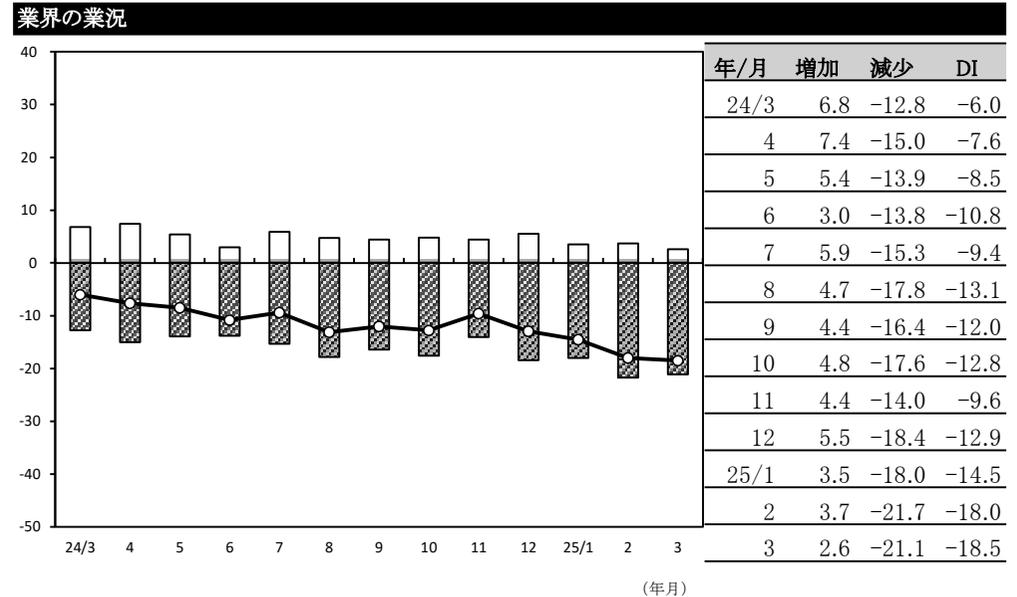
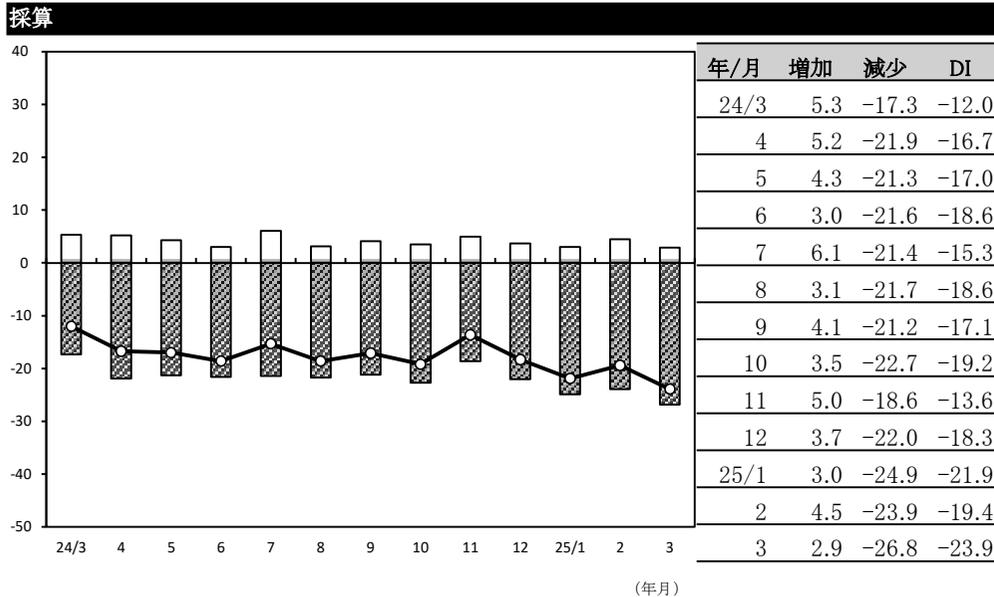
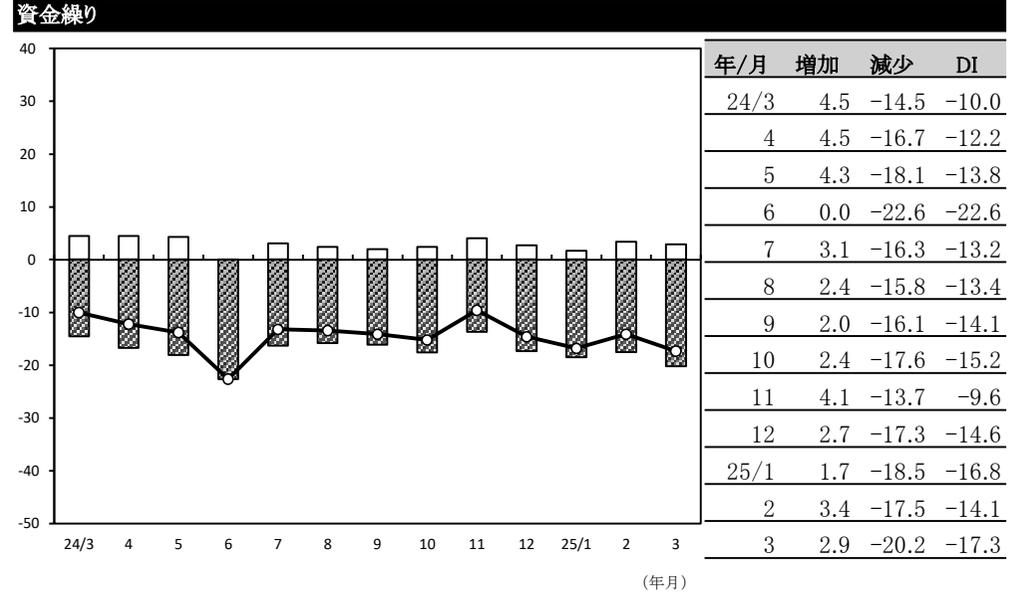
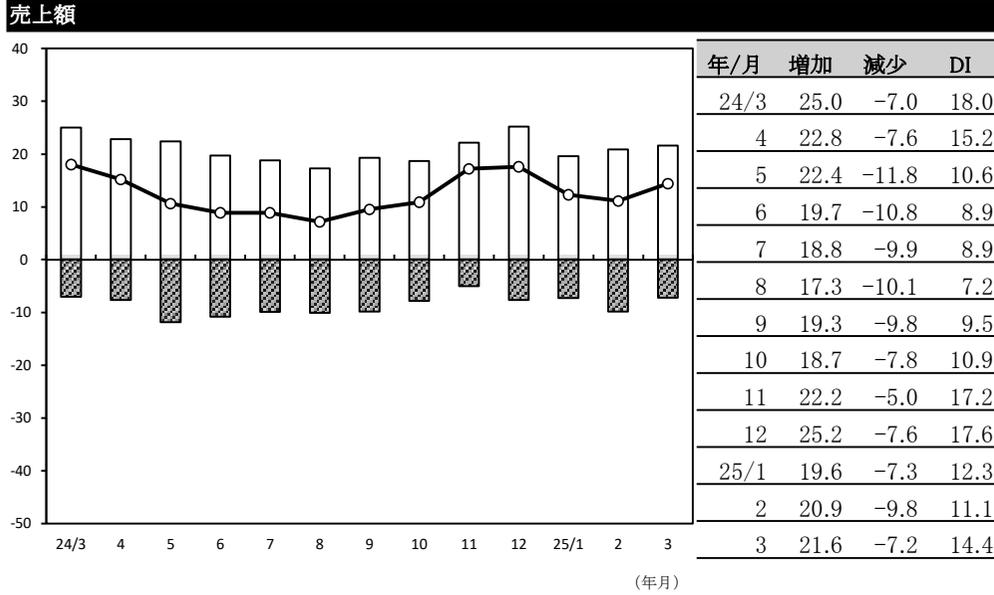
## 産業全体(前年同月比)



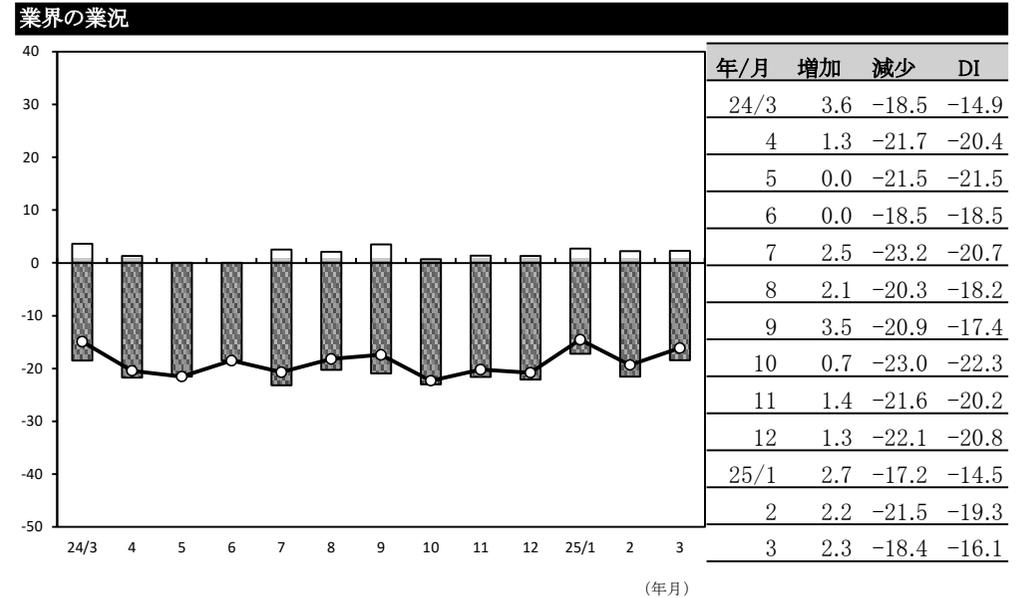
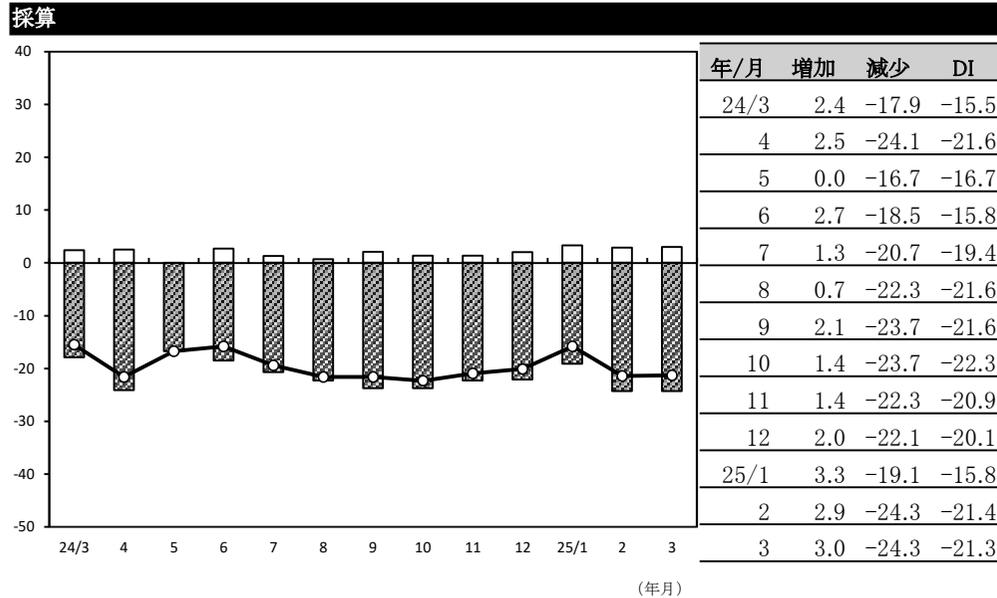
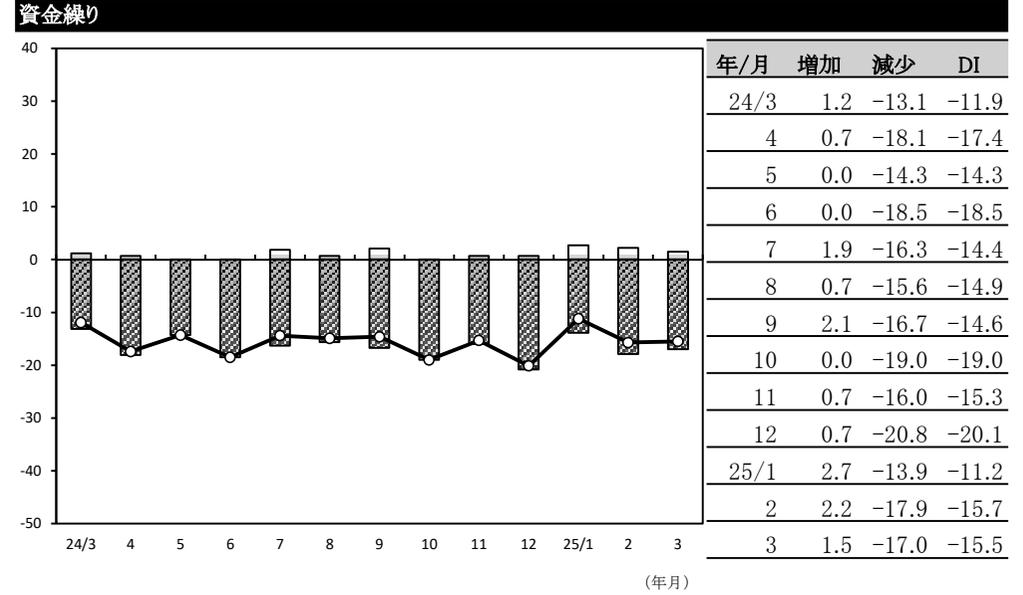
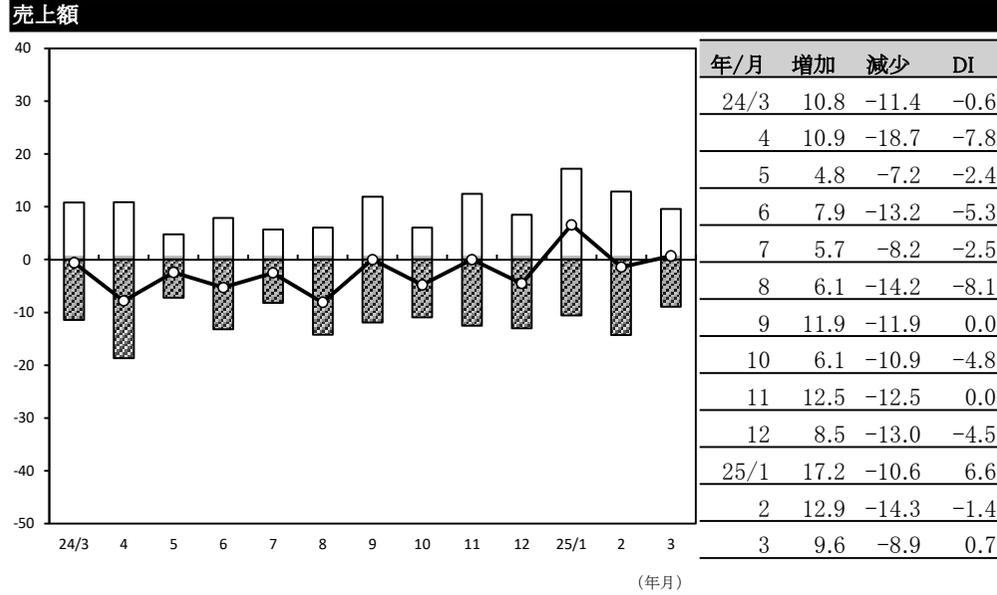
## 製 造 業(前年同月比)



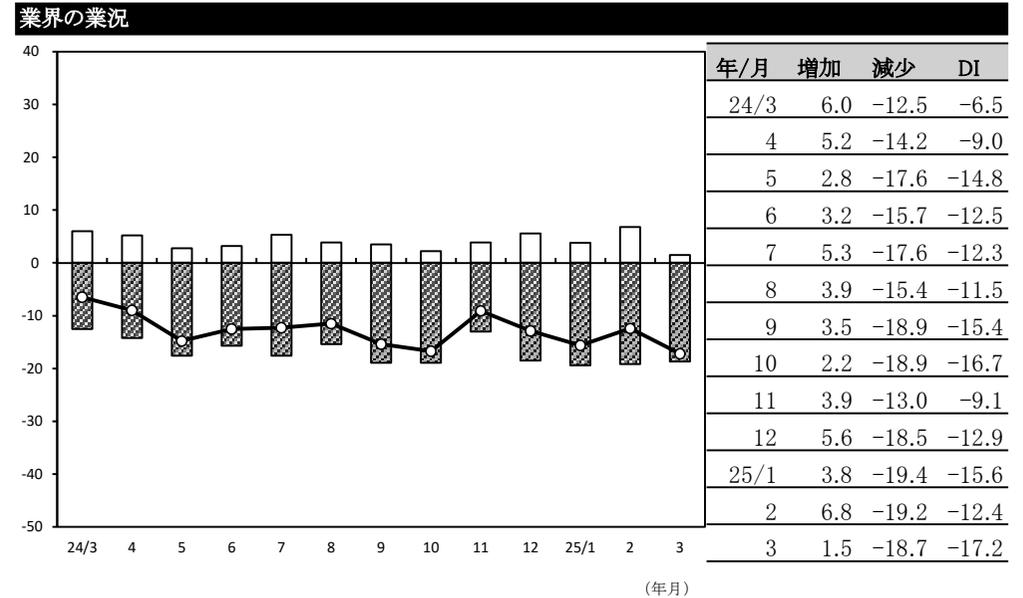
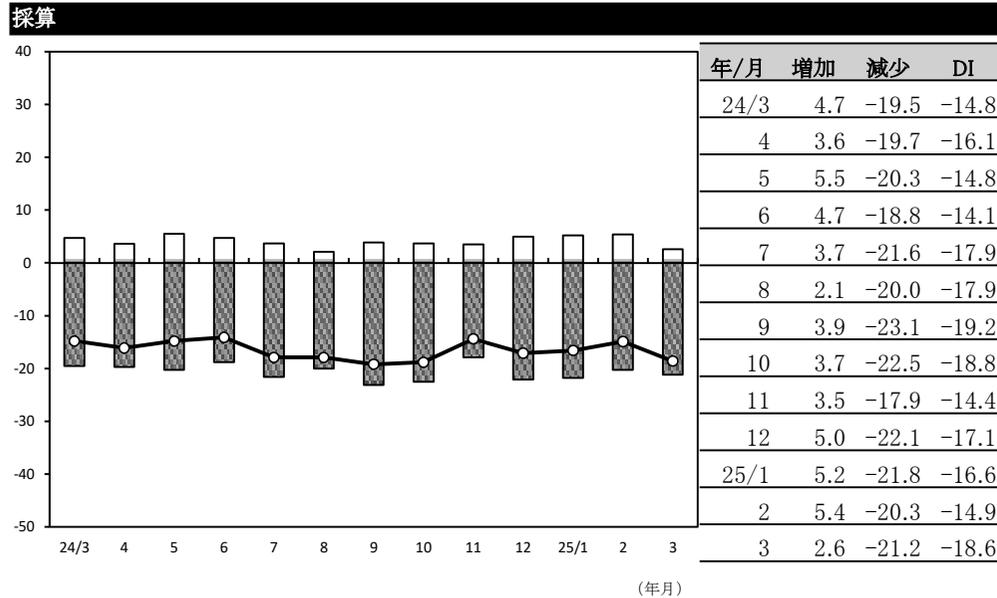
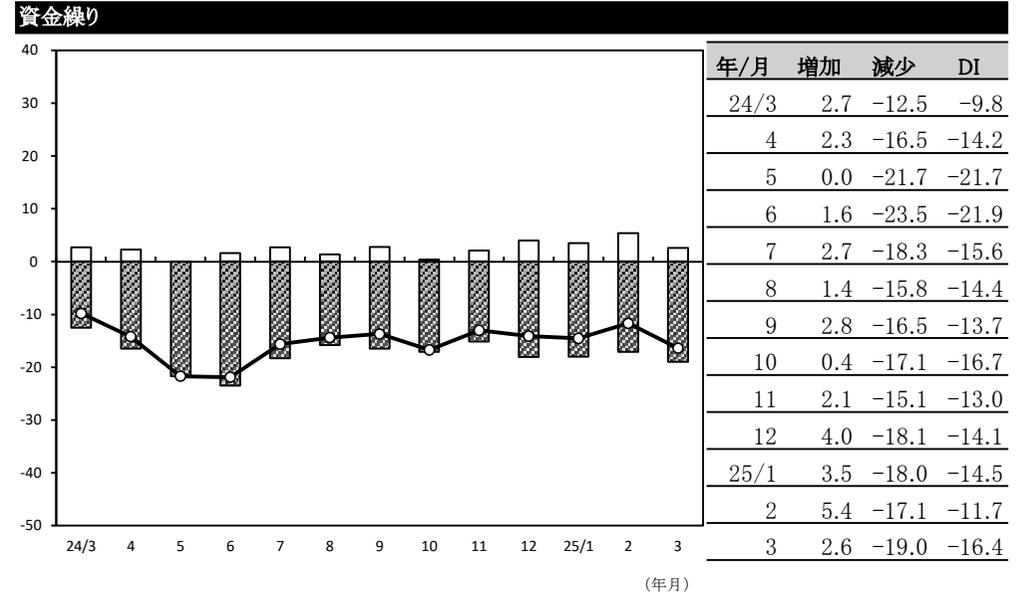
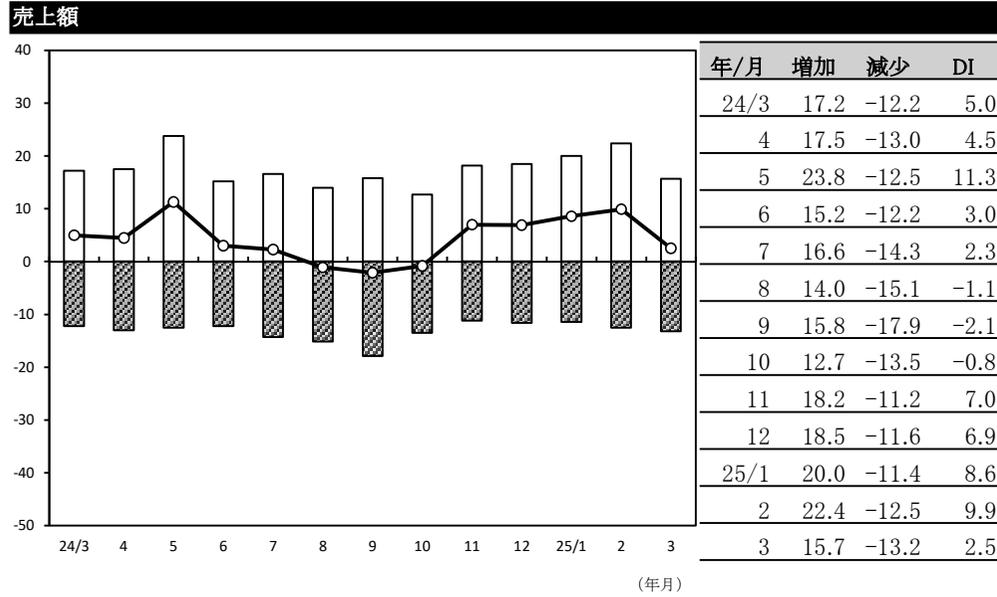
# 製造業【食料品】（前年同月比）



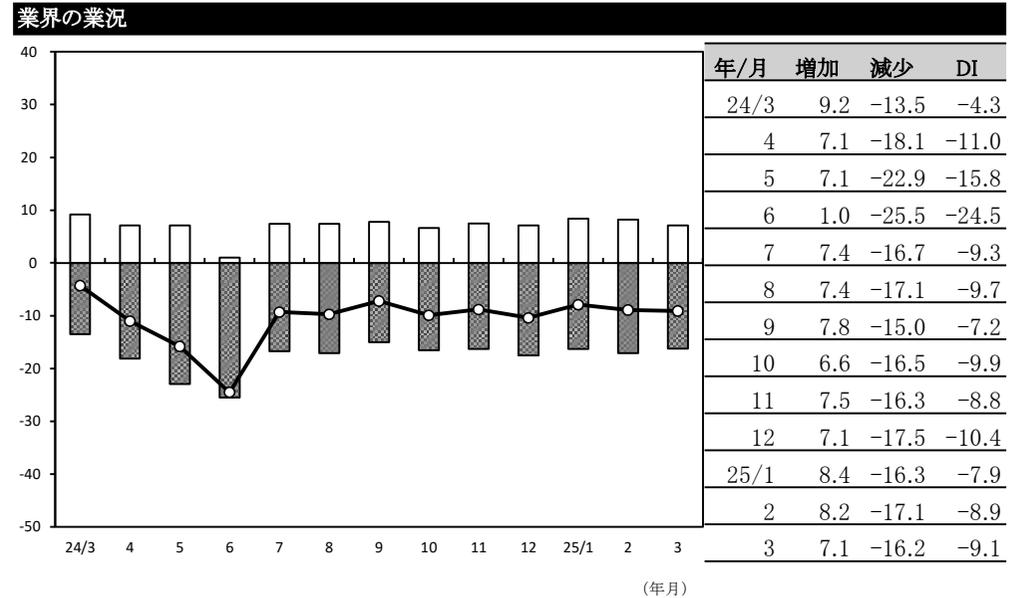
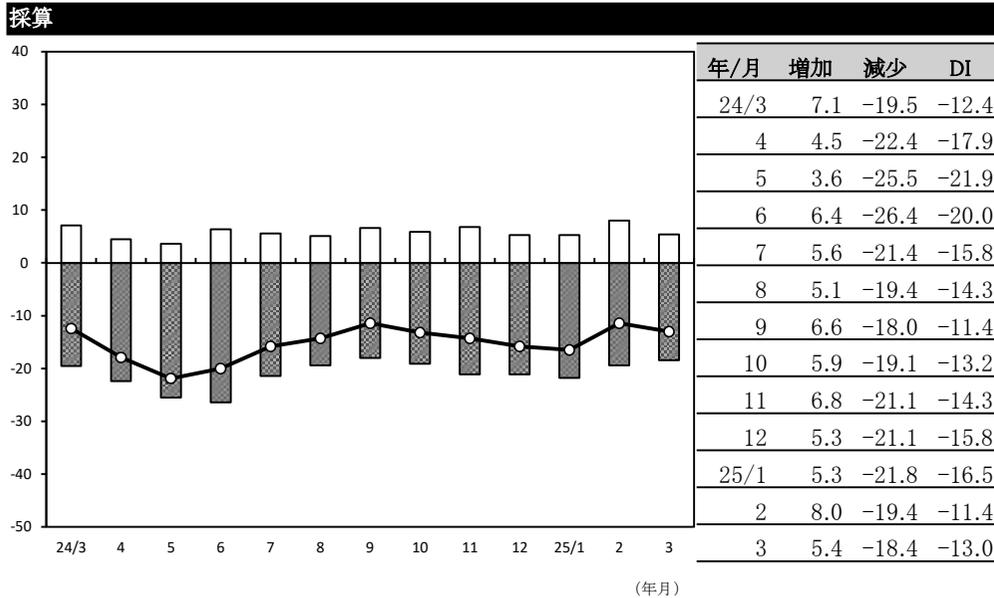
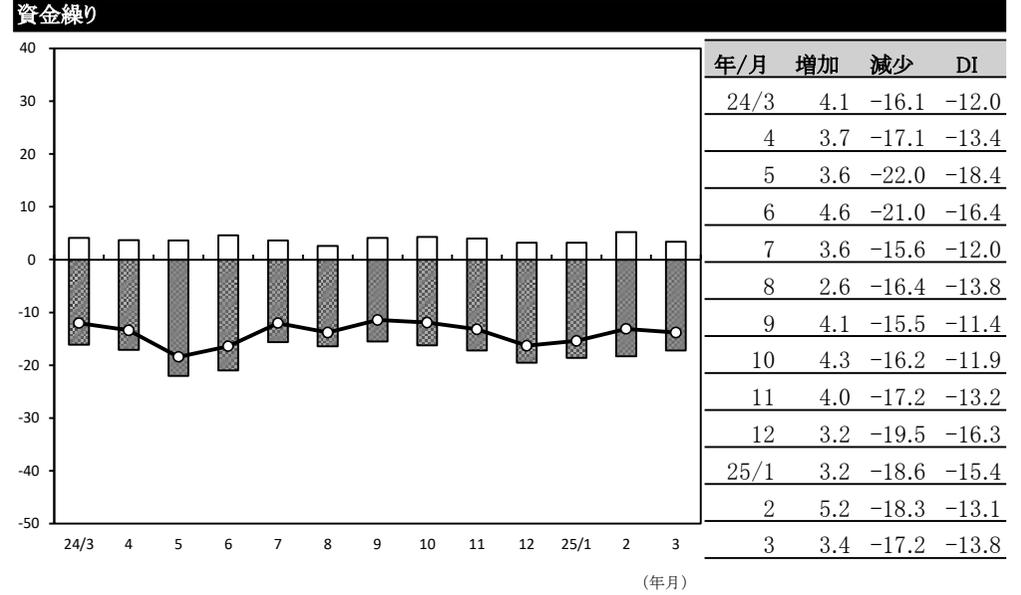
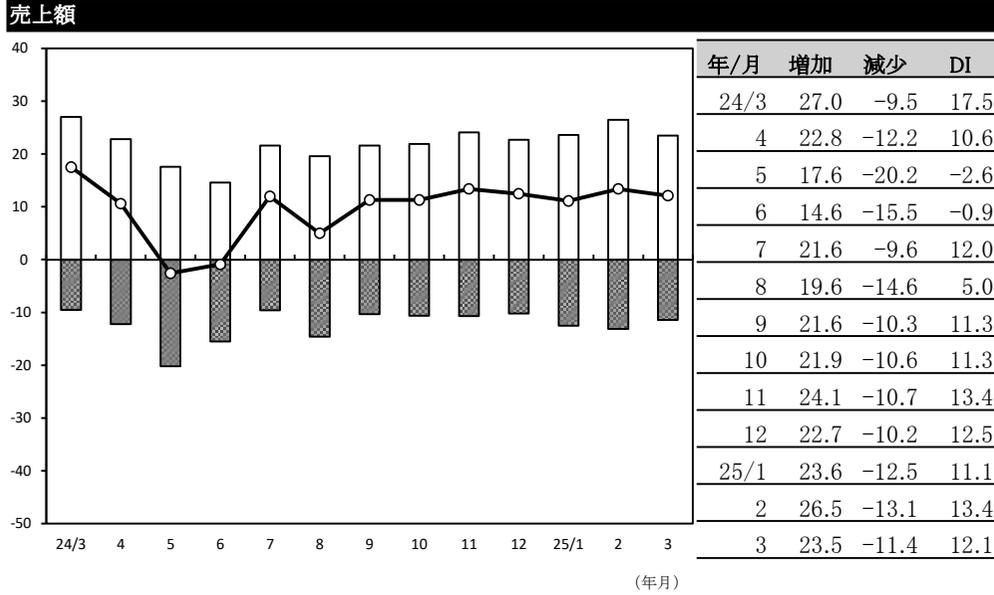
# 製造業【繊維】（前年同月比）



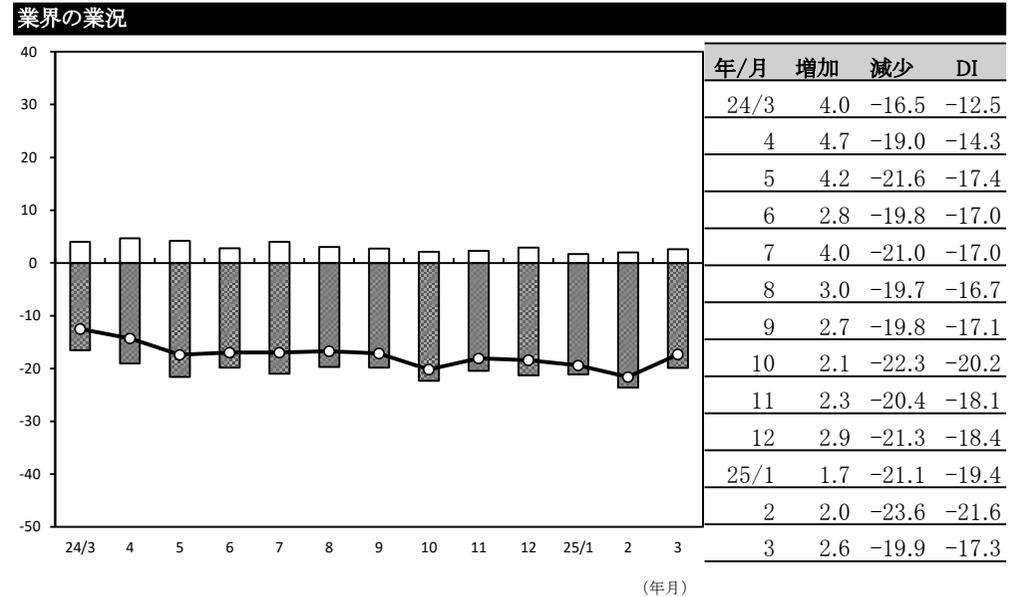
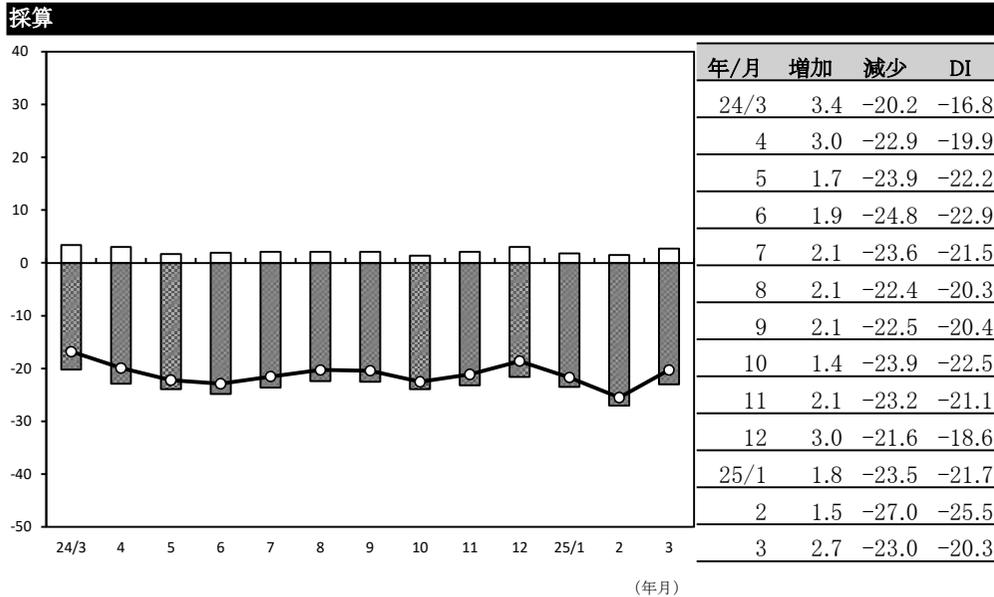
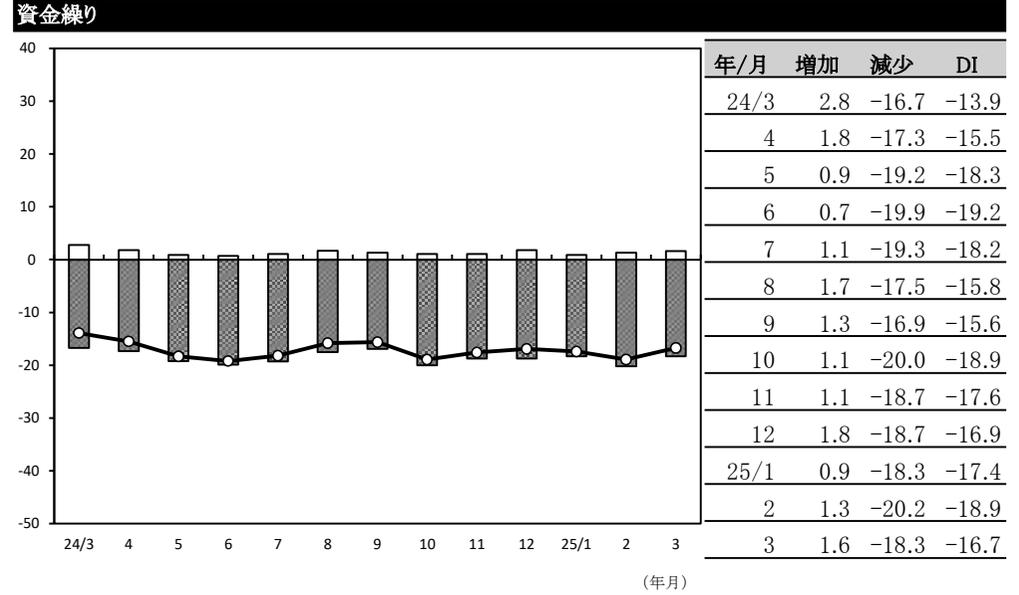
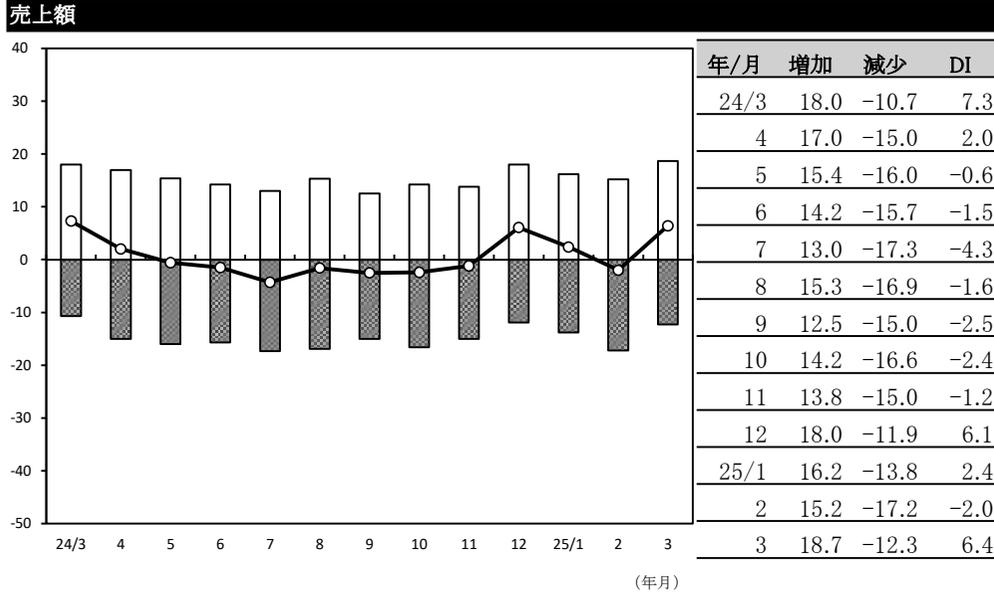
# 製造業【機械・金属】（前年同月比）



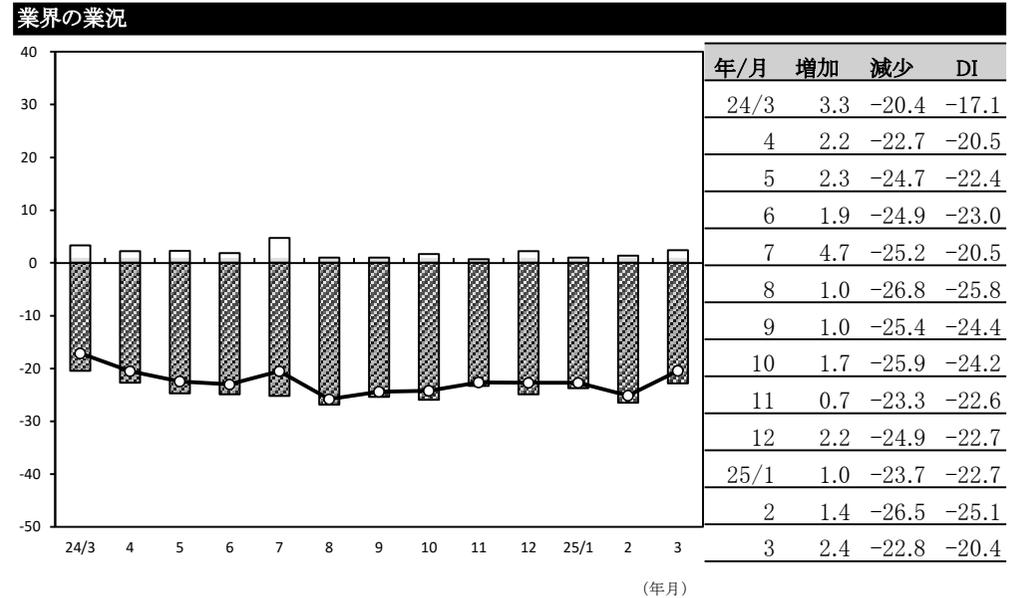
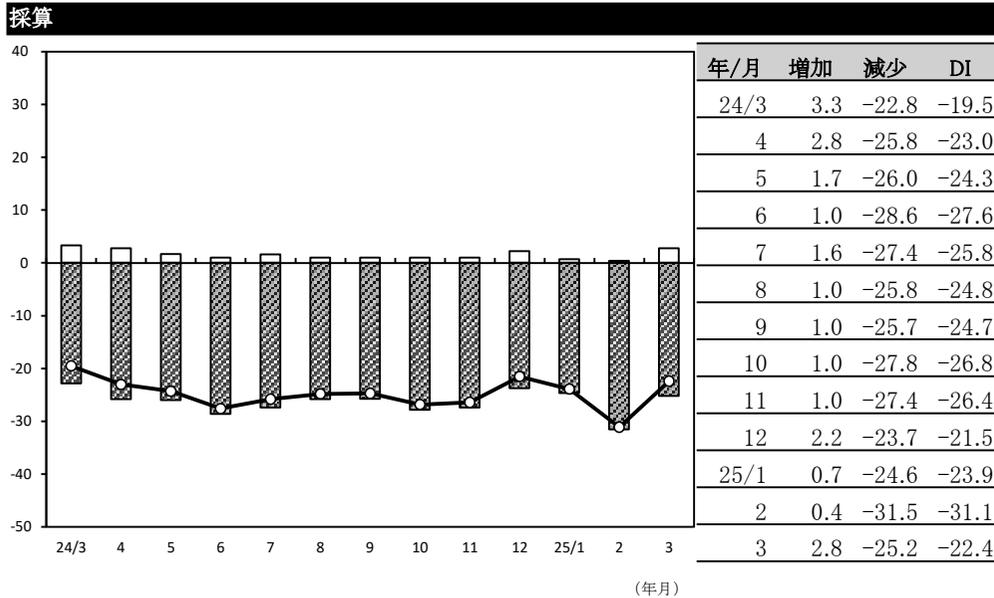
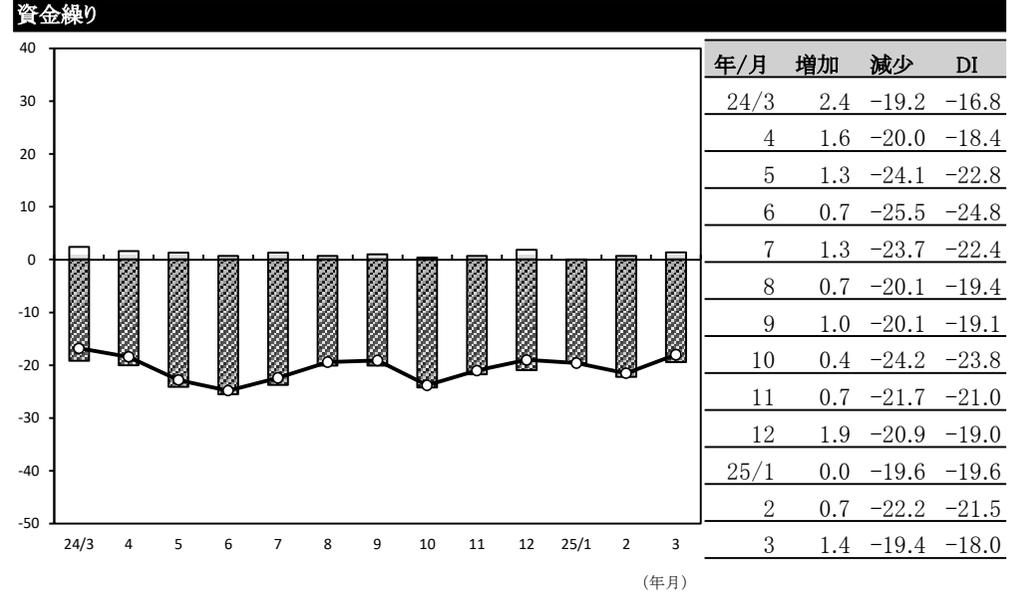
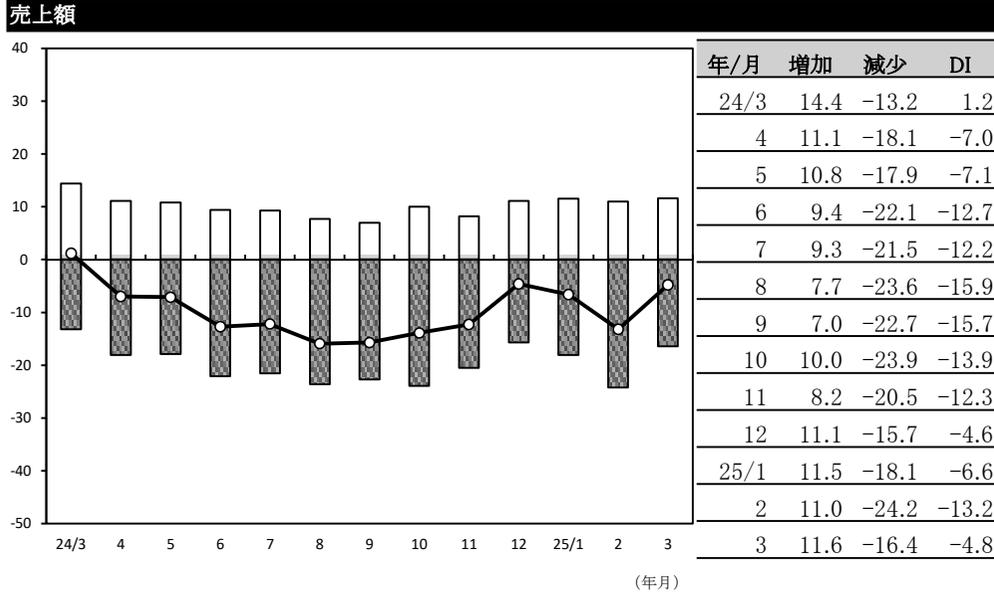
# 建設業(前年同月比)



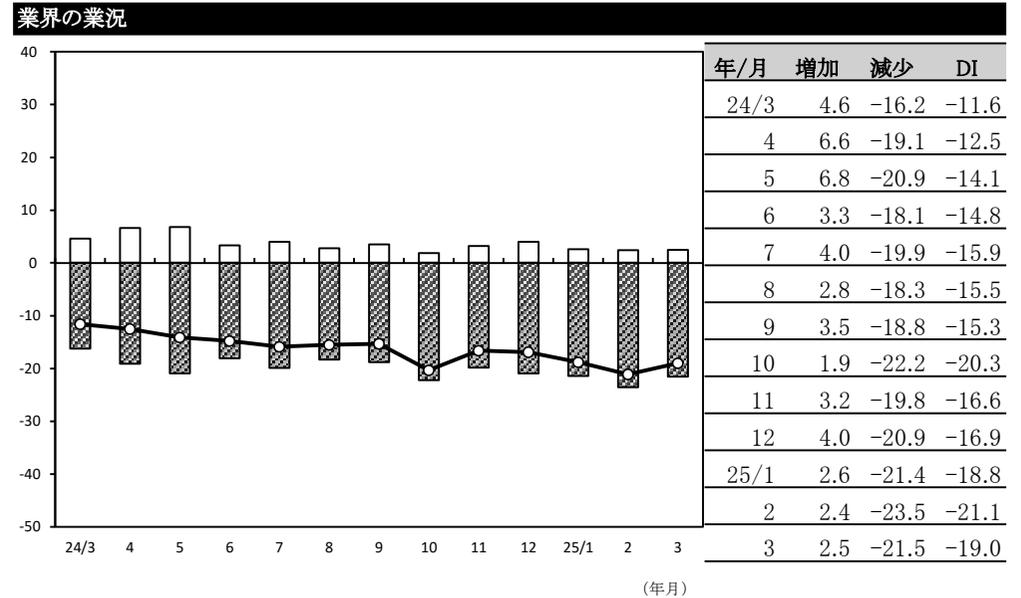
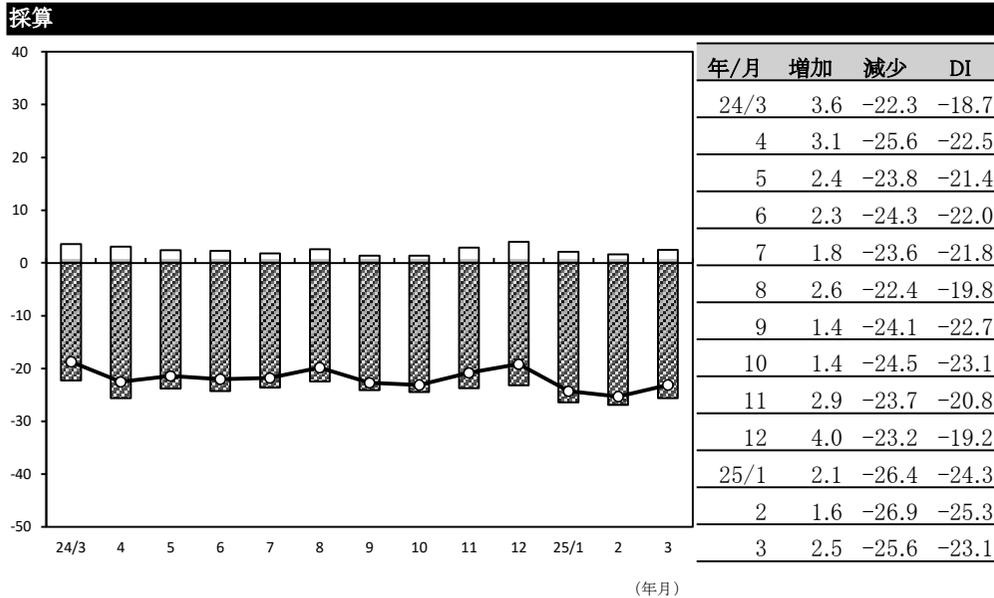
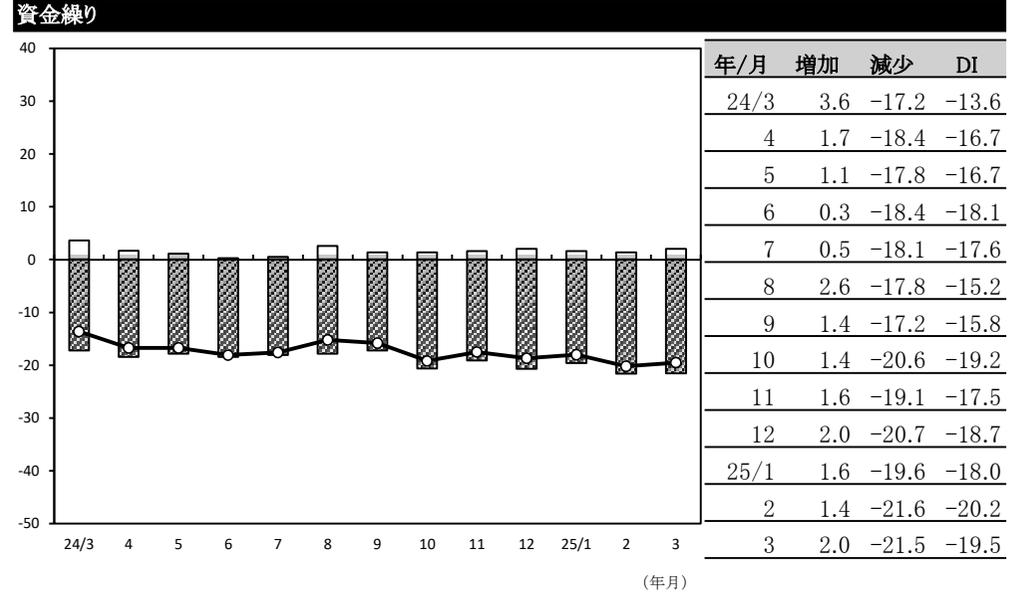
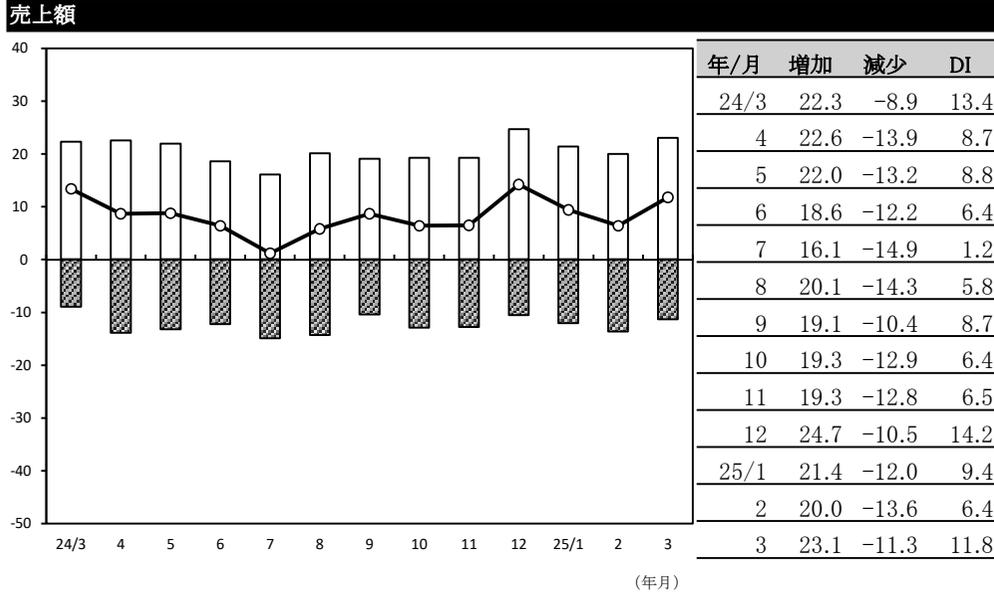
# 小 売 業(前年同月比)



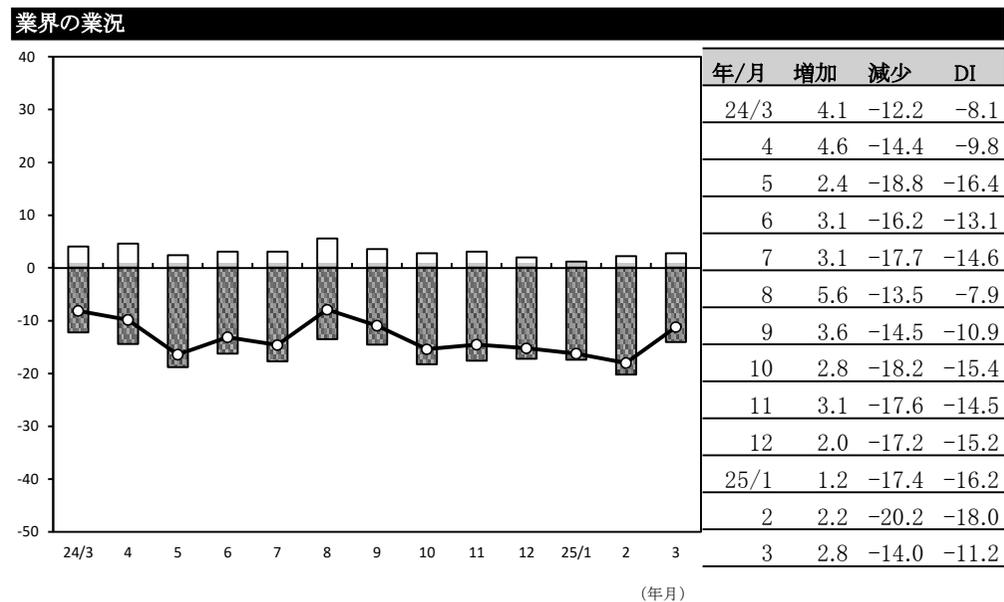
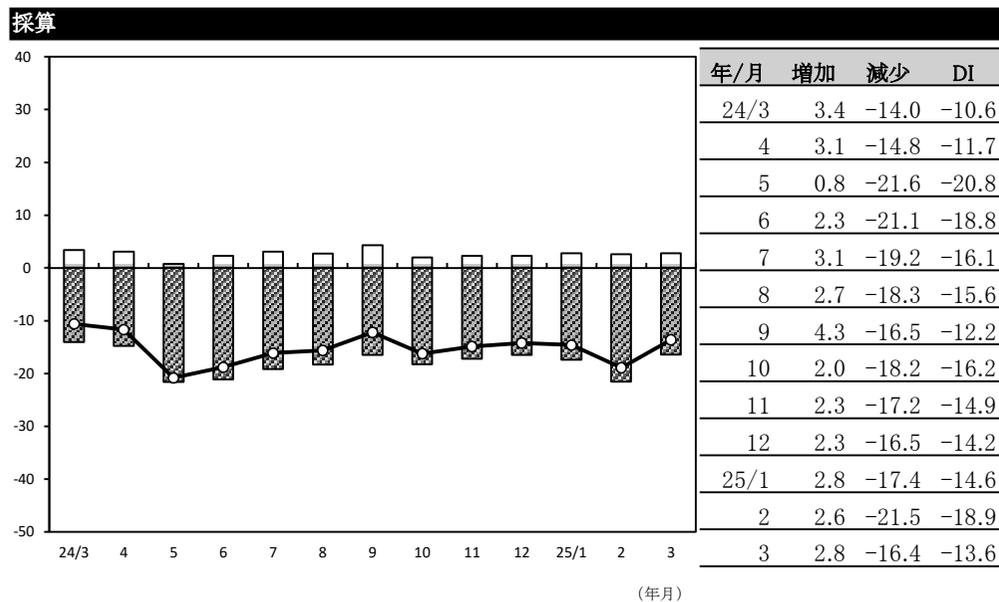
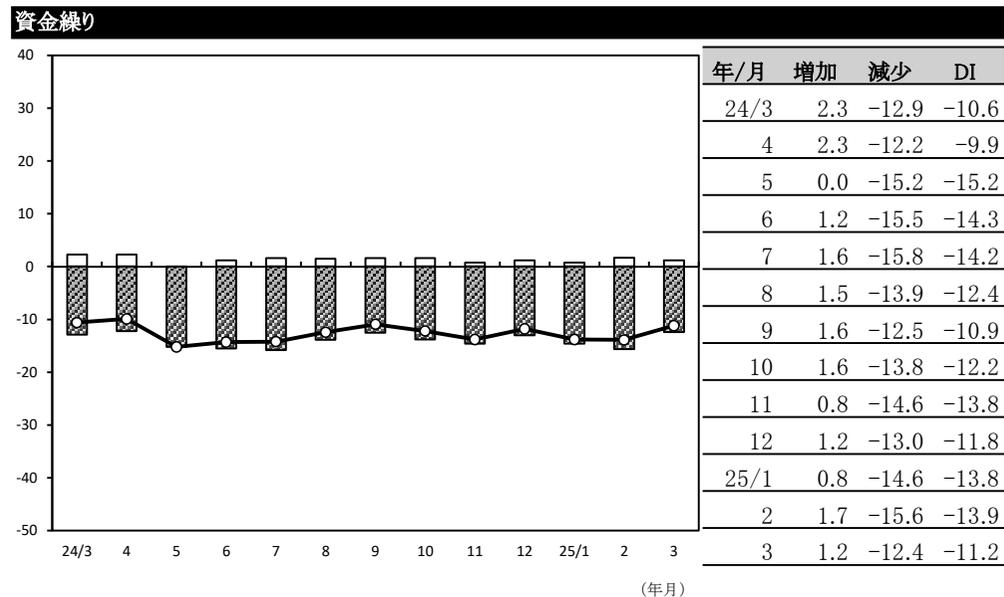
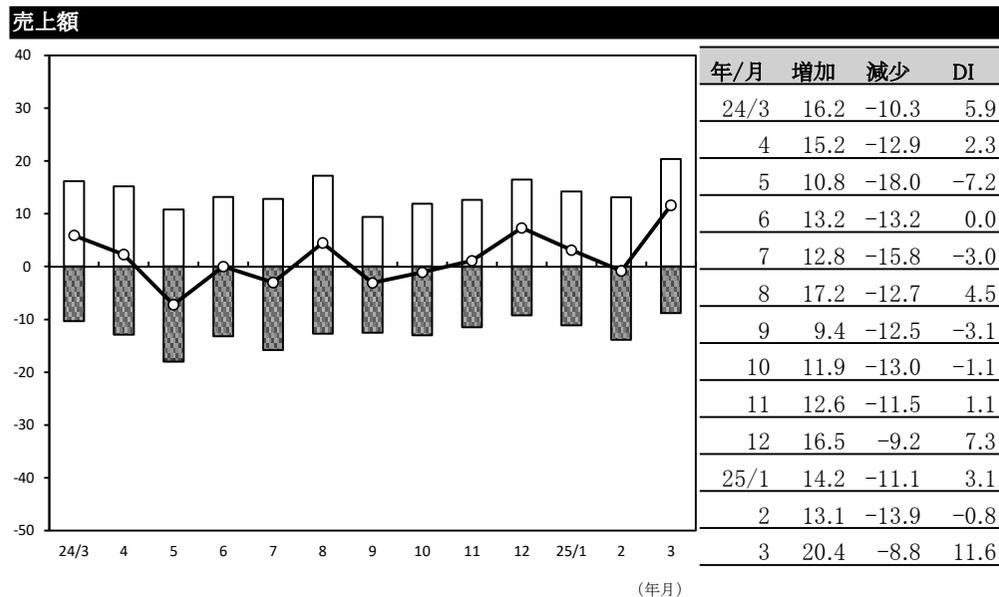
# 小売業【衣料品】（前年同月比）



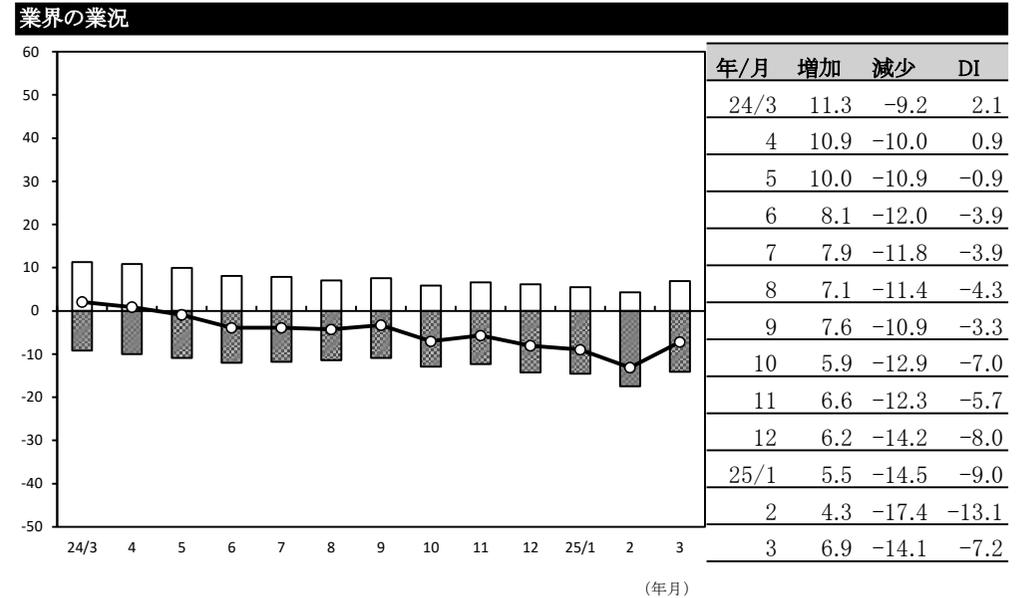
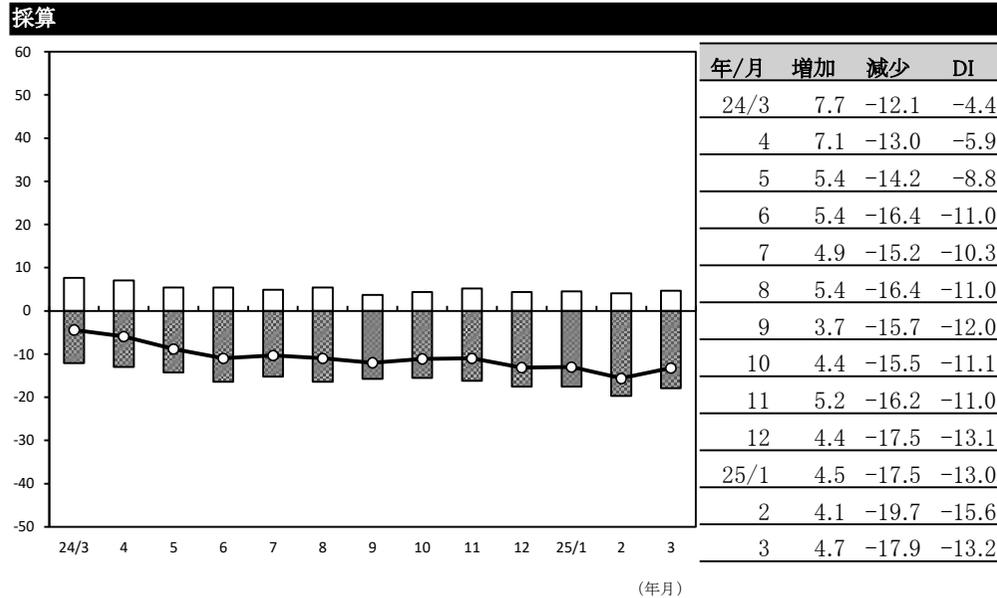
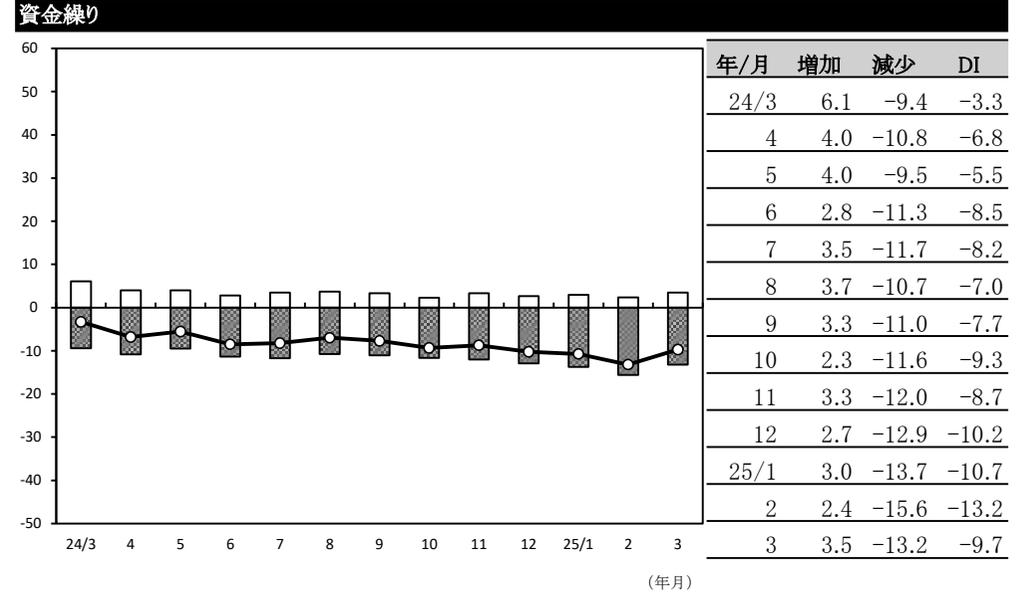
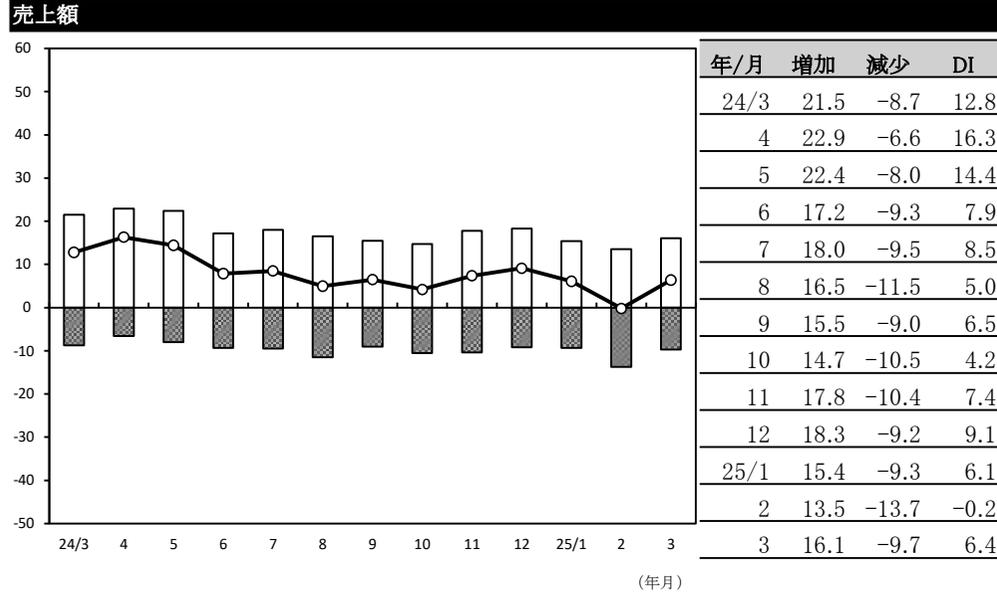
# 小売業【食料品】（前年同月比）



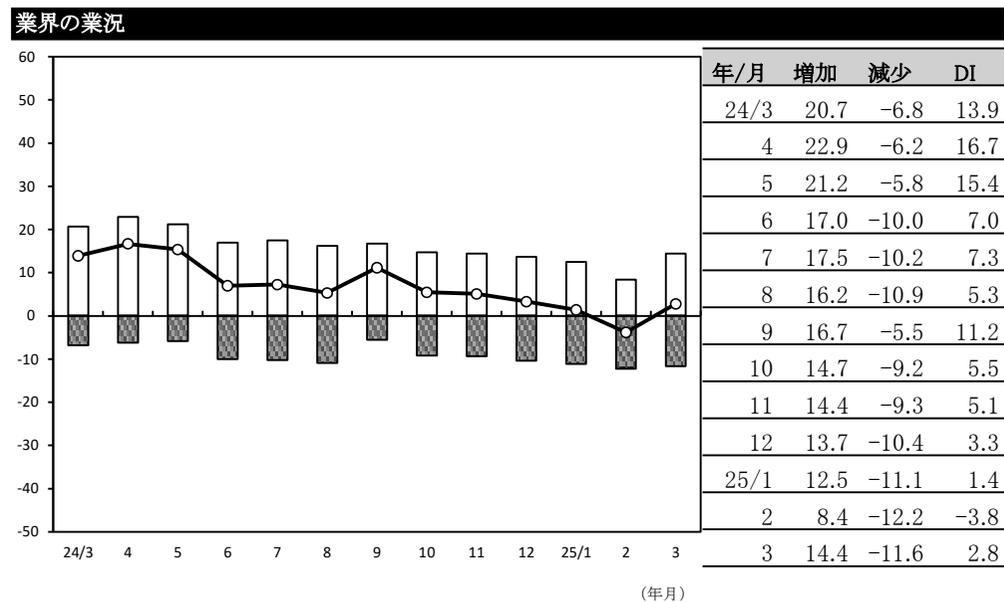
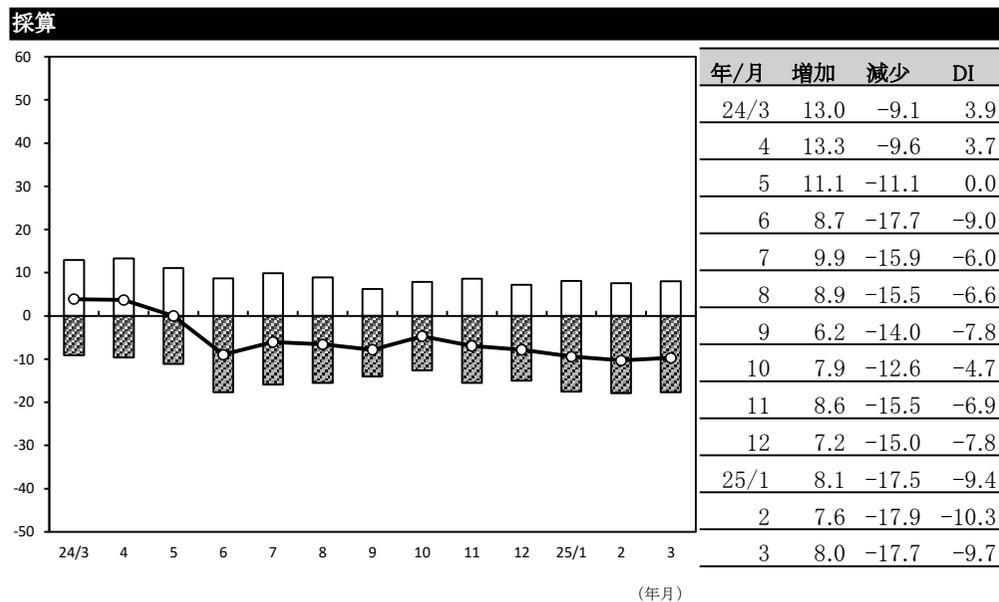
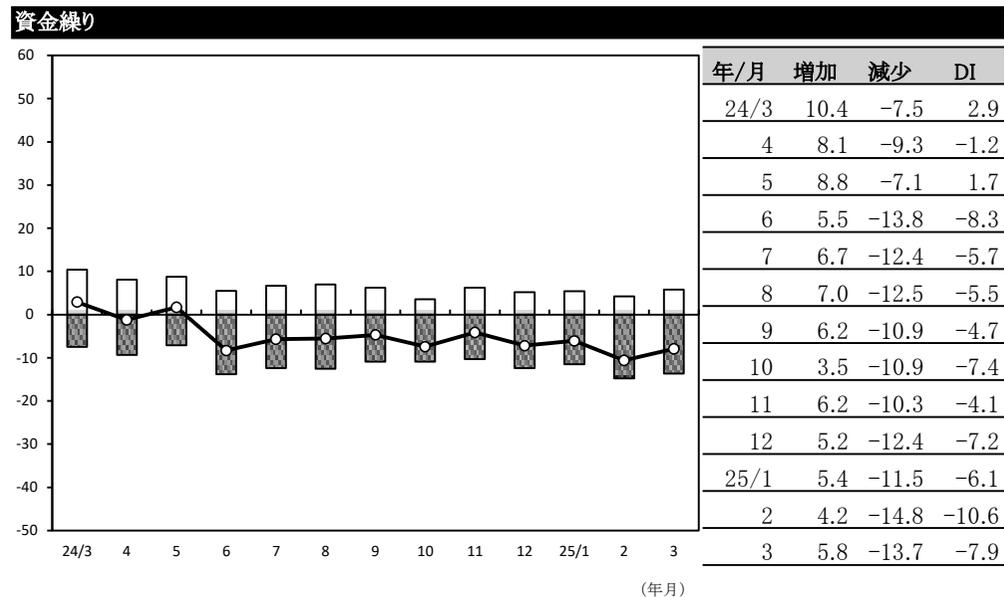
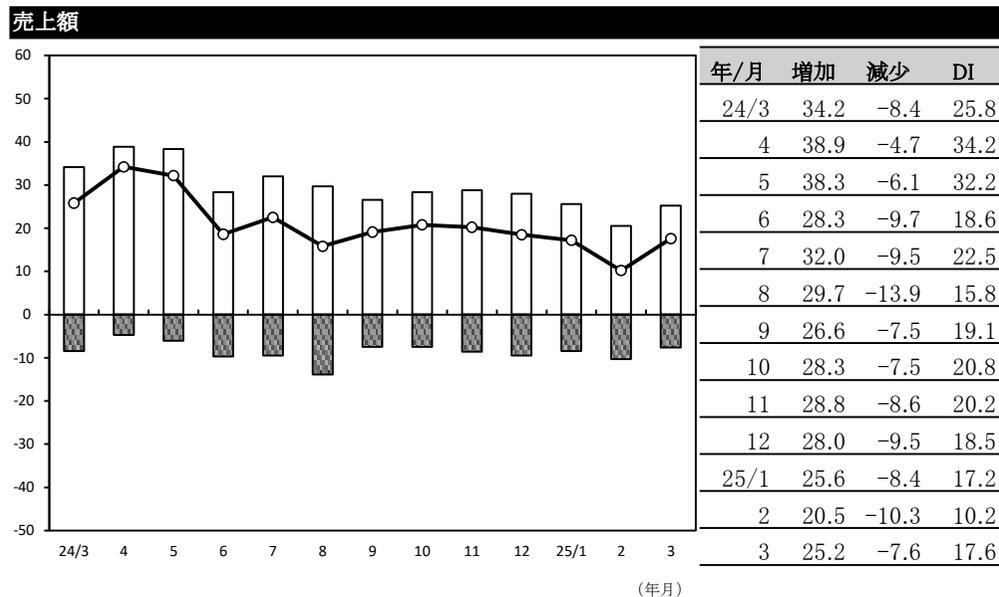
## 小 売 業 【耐久消費財】 (前年同月比)



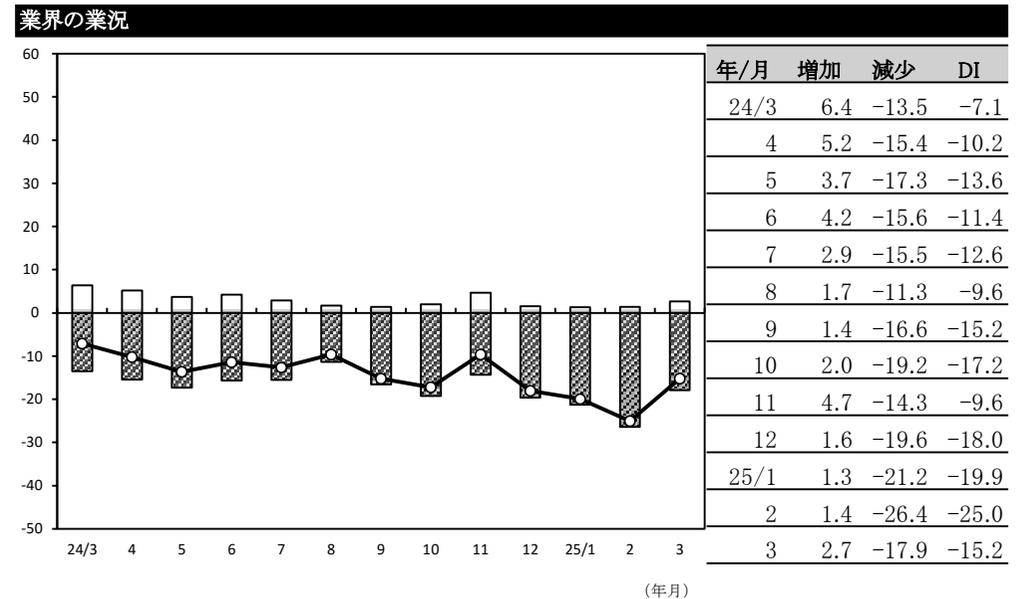
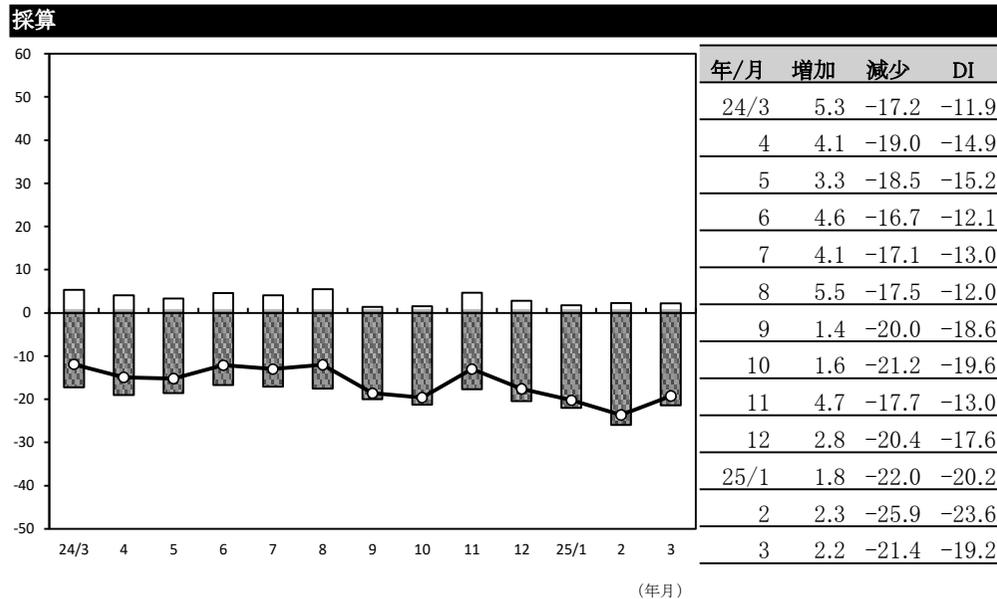
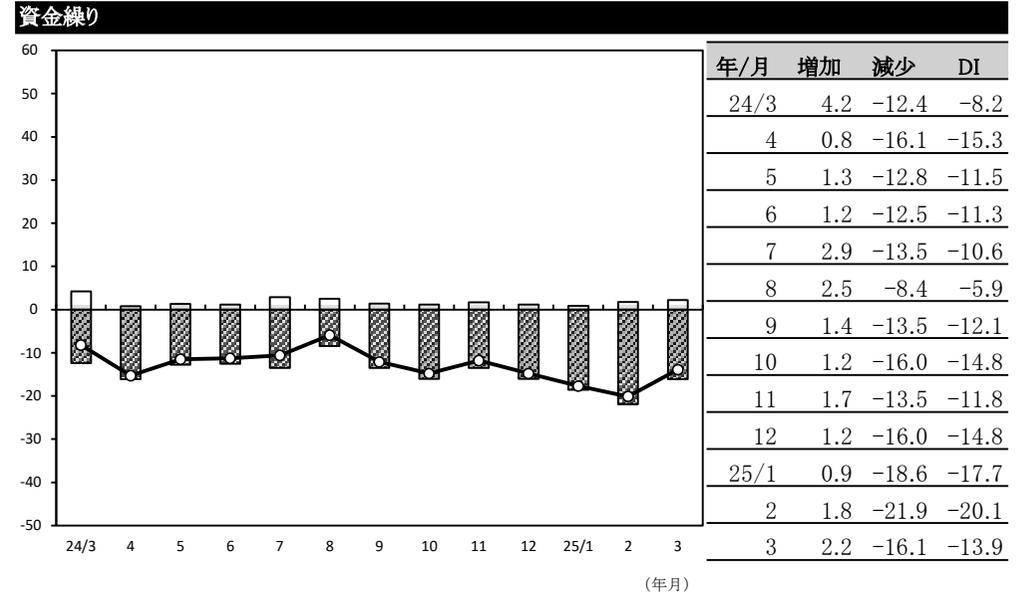
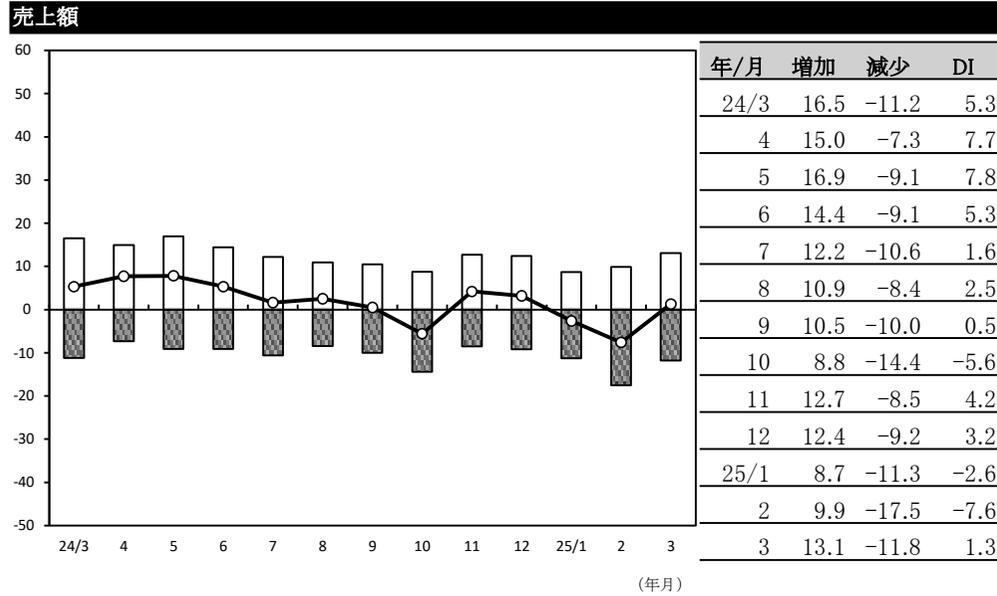
## サービス業(前年同月比)



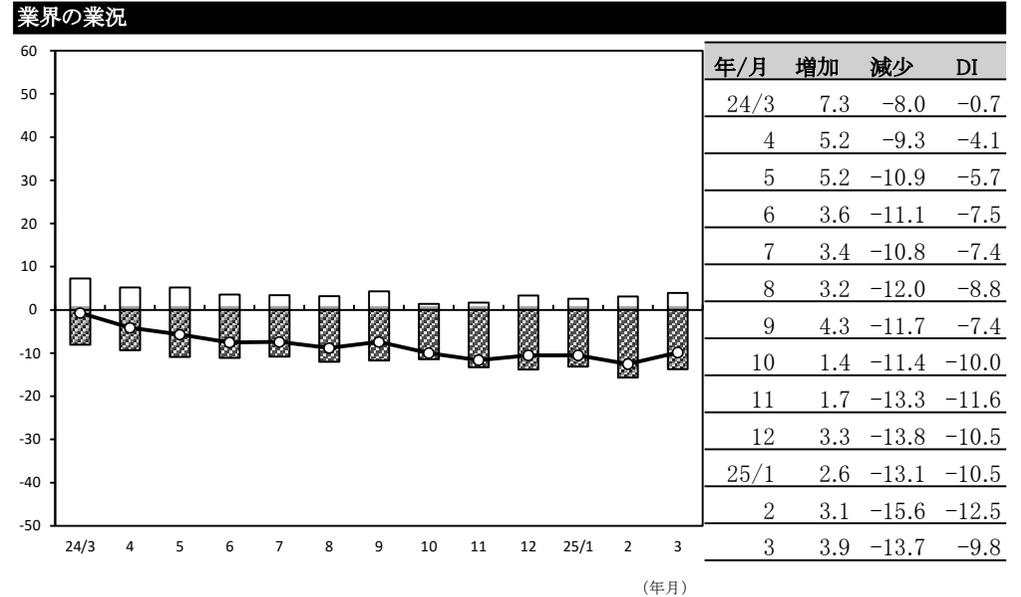
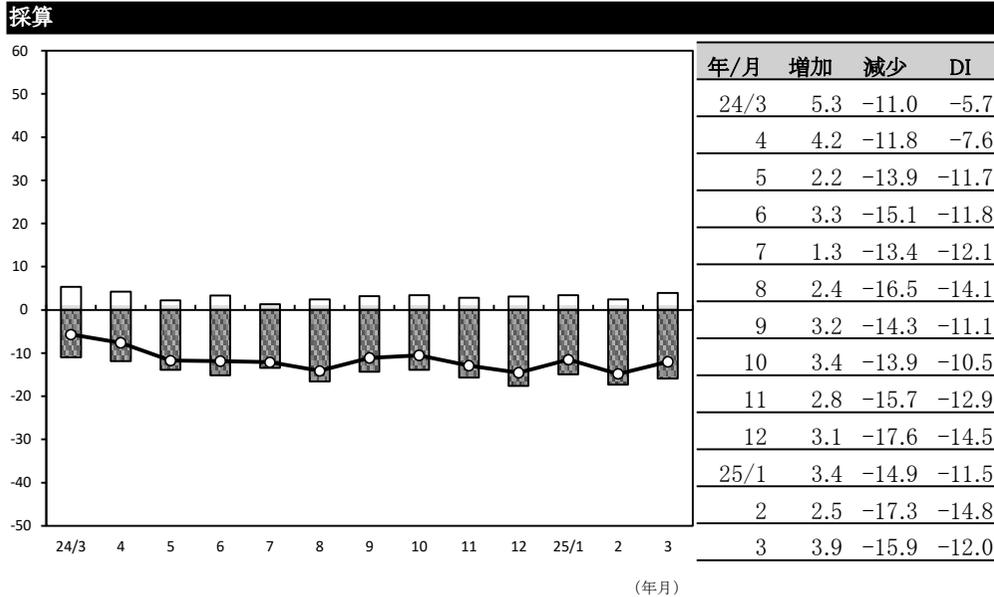
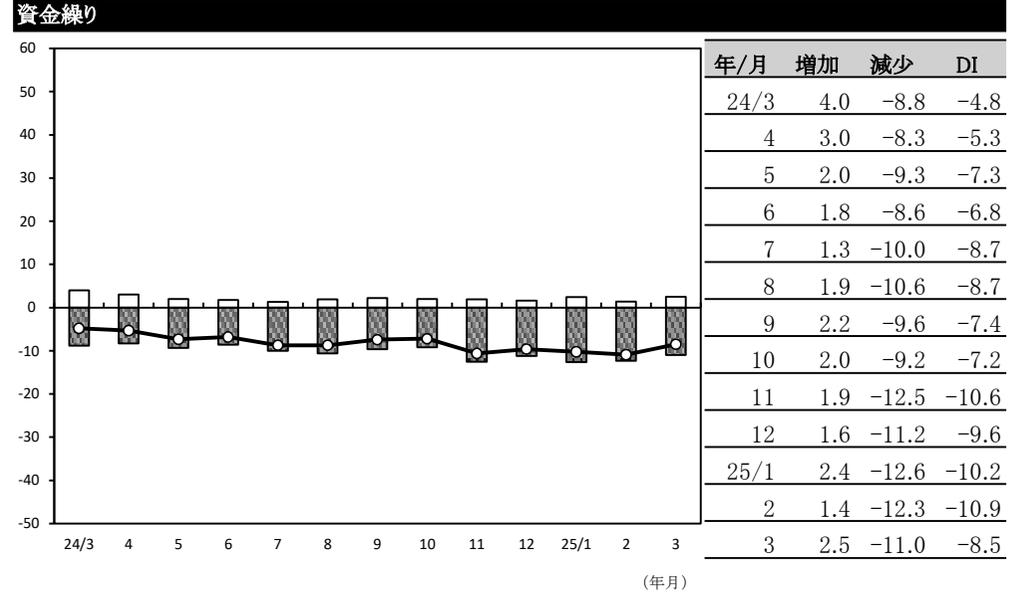
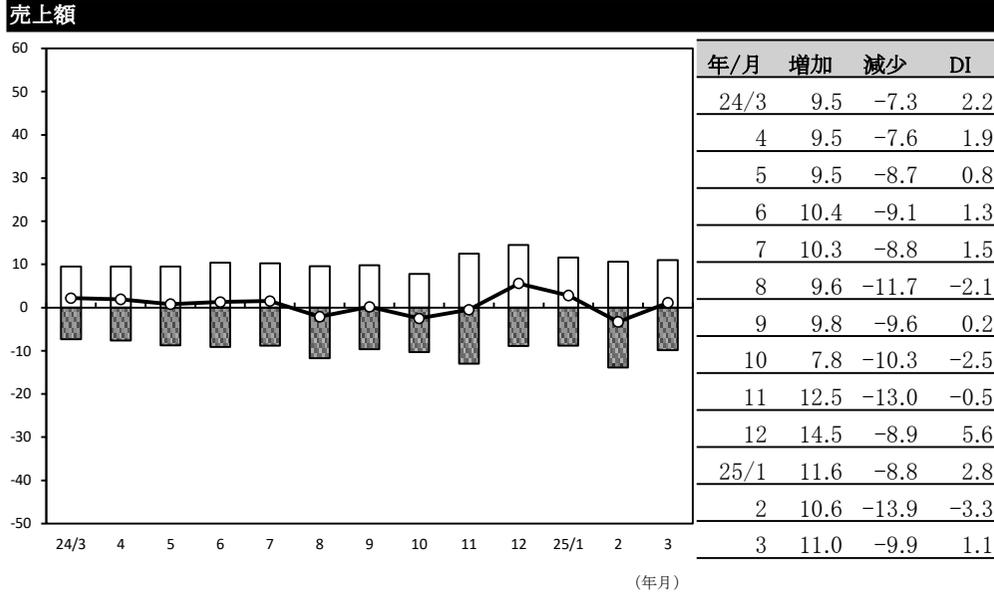
## サービス業【旅館】（前年同月比）



## サービス業【クリーニング】（前年同月比）



## サービス業【理・美容】（前年同月比）



## 小規模企業景気動向調査(3月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

ほぼすべての業種で好況である事業所が多い印象。特に観光に関連した業種では外国人観光客やJR東日本管内乗り放題(キョンプス)の効果で交流人口が増加したことが好況となった要因の一つと考える。今後は桜の花見の季節として、更なる交流人口拡大が期待される。

(秋田県仙北市商工会 田沢湖支所)

今月は、季節的要因からの売上増加が全体的に目立つ傾向にある月であった。また、物価高騰は依然として継続しているが、来月の値上げに向けまとめ買いといった駆け込み需要が発生する等、一定程度の売上増加に結び付いた月となったが、これも一時的なものであるとみている。今後、トランプ関税の動向次第であらゆる業界に於いて世界的に大きな影響を与えることが懸念される。

(福島県会津美里町商工会)

春闘において賃上げ率が高まっており、今後消費回復が期待できる一方で、地方の小規模事業者にとっては多くの業種で人材確保難が強くなっている。一方、こうした状況でも自社の独自性を突き詰めて市場ニーズをとらえた商品・サービス提供を力強く進めている事業者も増えてきている印象がある。外部環境に一喜一憂せず柔軟に事業展開できている事業者が今後も地域をけん引する兆しが垣間見えている。

(栃木県壬生町商工会)

物価上昇が続く中でも景気拡大基調となり、今後賃上げの実施できる企業に人材が流出していく見込み。売上も好調な事業所が多く見受けられてきた。

(群馬県みどり市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

全業種共通して、前年並みか微増、微減。固定客対象の業種は人口減と比例して売上の減が続いている。小売りでは、値上げが続いているため売上の増に繋がっているが利益率はむしろ悪化している感がある。低気温が続いており、春の農業準備に多少の遅れが生じており今後の懸念材料。いまのところ関税の影響はないが輸入材の価格上昇に建築業界は不安あり。

(北海道小平町商工会)

全体的に原材料価格高騰の影響により、売上げが減少傾向にある。また、そういったことから価格転嫁があまり進んでいないように見受けられる。

(青森県野辺地町商工会)

外部環境の変化に影響を受ける事業者でなければ、コスト増などの実感はあるものの、売上への影響は限定的な印象。他方、採算は悪化している為、経営への影響は大きい。現環境への悪い意味での「慣れ」のコメントも多かった印象。

(宮城県栗原南部商工会)

物価高騰の影響が大きいことに加え、人手不足の事業所が増えてきている。

(茨城県大洗町商工会)

物価上昇による買い控え、米国関税の引き上げによる取引先の輸出減、により小売業、製造業とも先行きが不透明。

(千葉県白子町商工会)

どの業種も物価高騰や原材料等の調達コストの増加により、価格転嫁しやすい業種との差が出ている状況になっている

(東京都小金井市商工会)

価格高騰対策として、賃上げが企業の99.7%、従業員数で70%程を占める中小企業に早く及ぶような対策が求められている。企業は、適正な価格転嫁を図りながら、生産性の向上に取り組む必要がある。

(新潟県寺泊町商工会)

当地域は直近10年間で約15%の人口が減少し65歳以上の年齢層が地域人口の40%を占める高齢化が進んでおり、地域全体の活性化、持続可能な経済環境の整備を図っていく必要がある。

(愛知県岡崎市ぬかた商工会)

物価高騰に歯止めがかからない現状で利幅も減少し、従業員の賃上げも十分に踏み切れない事業者も多いと思われる。

(福岡県岡垣町商工会)

サービス業関連については、好調なインバウンド需要があり、また建設業関係についても工事量などから好況が続いている。しかしながら、全般的には原材料費の高騰や人件費の上昇が懸念されており、また、賃金は上昇しているが、人口減少により人手不足が顕著であり、雇用確保が困難な事業所も多い。今後、生産性向上を図るための支援などが重要であると思われる。

(長崎県対馬市商工会)

早くも観光シーズンに入り観光客も多く来島しており宿泊業・飲食業の稼働率が高くなっている。しかし全業種的には人手不足や物価高騰に加え、消費者の節約志向により厳しい経営状況が続いている。

(鹿児島県知名町商工会)

## 2. 製造業

### <改善傾向を示すコメント>

豆腐類の食料品製造業は、学校給食や業務店からの受注が増え、売上微増。物価高騰で食材費など上昇しているが価格転嫁はできている様子。

(富山県富山市北商工会)

売上も順調であるが仕入れも高騰している。利益率としては微増である。

(岐阜県笠松町商工会)

食料品製造業関連の事業者は、市場で野菜の値上がりが伝わるがきのこは変動なし。仕入単価の上昇はあるものの価格転嫁は行っておらず、3月に新設備を導入したことで今後の稼働率が多少向上見込みである。繊維工業製造業関連の事業者は、当社加工品が中国にて製品化され米国へ輸出されることから、トランプ関税の影響を注視している。現時点で取引先である商社から減産要請はない。人手不足により、加工委託先から研修生を受け入れ技術教育を行っており将来的には当社は製造規模を縮小もしくは廃止を検討している。機械金属製造業関連の事業者は、対前月比で売上増加。業界では3月は対前月比で繁忙期にあたり好転しているところが多い。

(岡山県みまさか商工会 勝央支所)

建設機械製造部品加工業では、生産拡大しており下請け事業者では受注が増えている。

(香川県高松市中央商工会)

出水市の食肉加工製品製造業事業所において、製造工場の増築工事が行われており、鶏肉加工品の製造能力向上により売上拡大を図る計画とのこと。原料価格高騰がつづいており、規模拡大、製造工程改善により製造コスト管理も行いたいとのこと。

(鹿児島県鶴の町商工会 野田支所)

### <悪化傾向を示すコメント>

食料品…前期比で売上1割ほど減少となっている。消費の落ち込みが要因と考えられる。近隣の宿泊施設の宴会需要が増加しているが、受注増には及んでいない。大豆の仕入値が上昇しているため、安価な種類に切り替えている。繊維工業…受注に関しては大きな変動はないが、副材価格高騰や人件費増による利益圧迫に対応するため、会社一体となった節電対応等で経費削減を図っている。従業員高齢化対策として、設備導入による生産性の改善事業も検討中。機械・金属…取引先メーカーは好調のため、当社受注分も安定している。今後の新規案件の引き合いもあり、設備投資を検討中。定年退職者の補充ができておらず、人員不足は数か月続いている。

(秋田県由利本荘市商工会 矢島支所)

食料品製造関連の事業者は小麦粉や油脂、包装資材などの原材料費が上昇し、仕入単価の上昇が継続している。販売価格への転嫁が難しく、採算がやや悪化している。加えて、光熱費等の負担も重く資金繰りもやや悪化している。機械金属製造関連の事業者は、鋼材や部品などの仕入単価がやや上昇しており、採算はやや悪化している。電気代や人件費も増加傾向にあり、利益を圧迫している。

(栃木県那珂川町商工会)

金属加工業については、元請け事業者からの価格改定を受けざるをえず売り上げ・資金繰りに厳しい状況が続いている。また、小ロット多品種の仕事が多く、機械のセッティングや段取りに時間がかかり効率が悪くなっている。

(埼玉県東松山市商工会)

車両部品製造業において、海外へ輸出する製品に対する米国政権の関税が大きく影響を受けることを懸念している。

(東京都日の出町商工会)

食品製造業は原材料価格上昇、消費者節約志向の影響もあり、採算は悪化傾向。繊維清掃業は原材料価格上昇もあるが、夏物商品が好調なため業況は大きな変化なし。機械金属製造業は米国の関税動向が不透明なため、減産傾向となっている。

(石川県津幡町商工会)

企業の設備投資が冷え込んでおり、昨年末ごろから鉄骨建材の受注が大きく減少している事業者が見受けられる。また、受注の減少が見られない事業者においても、仕入先である鋼材卸業者の仕事量が減少しているとの報告があり、業界全体として厳しい状況が続いていることがうかがえる。

(京都府福知山市商工会)

金属部品製造関連事業者は、材料費の高騰や加工単価があがらないことなどにより採算が悪化している。

(兵庫県佐用町商工会)

農業機械関連の受注が減っており、売上が減少傾向にある。下請けの場合、仕入があるケースは少ないが、必要備品やパーツが必要な場合は原材料費が上がっているため、厳しい場合がある。また、交渉の際、原材料の値上がりは見てもらえるが、加工賃の値上げには応じてもらえないケースが多く、電気代等の固定費や生活費の値上がりに苦労している事業所が多い。

(岡山県岡山北商工会)

食料品製造業においては、値上げを含めた売上増となっており、物価高騰の影響もあることから採算は不変となっている。

(鹿児島県知名町商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

電気工事については、公共施設、工場設備等の電気設備工事が増加傾向であるが、人員不足により工事受注ができない業者が散見される。蛍光灯の2027年末、製造停止・輸出禁止に伴い、公共、民間を問わず、LED照明への更新工事増加が見込まれる。

(福島県田村町商工会)

受注によって売上、利益の波が大きい。原材料費の高騰はあるが、価格転嫁できている。

(新潟県巻商工会)

諸経費の価格上昇は他の業種と同様であるが、全体的に転嫁もできている様子。仕事量も多く、堅調である様子が伺える。

(静岡県沼津市商工会)

前年同月は令和6年能登半島地震が発生し通常期の比較とはならないが、地震発生時に稼働できない期間を鑑みると売上は増加となる。復興需要は引き続き旺盛であり、当面受注環境は良いものと思われる。特に研り工事は公費解体を含め需要が多い。

(石川県宝達志水町商工会)

管内においては駐屯地建設や福岡熊本の開発が続いている影響で県外の現場も多いため好調な印象を受ける。一方で資材や燃料費の高騰、賃上げにより経費の方も上がっている。また慢性的に人手不足が続いている。対策として内部体制を見直し生産性向上に繋がる設備投資を行う事業所や外国人労働者の採用を検討する事業所も見受けられた。

(佐賀県佐賀市南商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

建設業関連の事業者は、物価高騰の影響により、仕入価格、販売価格ともに値上がりしており、採算等に影響が見られる。

(北海道新ひだか町商工会)

建設業では、人手不足や資材高が続く中、公共工事や住宅リフォームの受注が堅調である。中小業者では高齢化や若年層の確保難が深刻化しており、労働力不足が課題となっている。IT導入も一部進むが、全体としてデジタル化の遅れが作業効率に影響している。

(茨城県稲敷市商工会)

建設業については、物価高騰の影響は価格転嫁で対応しているが、仕入単価が高騰している為、支払いと入金サイクルのギャップにより資金繰りが悪化している。

(埼玉県東松山市商工会)

公共事業は採算がとれないケースが多く、業界が苦しんである。外国人を含め、人材不足は深刻である。

(千葉県香取市商工会)

製造業と同様、原材料価格の高騰も治まることはなく、経営・財務力の確保に苦労が絶えない。将来、建設業に就く意向を持った者も少なく、就業条件によっては外国人労働者でも確保できないことも生じているようである。

(東京都清瀬商工会)

仕入単価の上昇で売上が入るまでの資金繰りが難しくなっている。借入を行うことになった。

(神奈川県寒川町商工会)

住宅建設関連の事業者は、仕入単価は落ち着いてきている。世界情勢で海外からの仕入れが先行不明であるため先行が見通せない状況である。

(岐阜県恵那市恵南商工会)

土木建設関連の事業者は、材料費・燃料費の高騰により採算が悪化している。公共事業も減少している。

(兵庫県佐用町商工会)

建設業は、慢性的な人手不足を打開したく、打つ手を模索する中で、国交省が公開した「外国人建設技術者の採用・定着に向けたハンドブック」を参考に、外国人の施工管理技術者の採用、受け入れに向けた体制整備を検討している事業所もある。また、建築資材、ガソリンの高騰による物流コストの上昇が懸念される。

(鳥取県北栄町商工会)

業界の動向として、現場の稼働状況は良好であり、売上は増加している。一方で資材価格の高騰が続いているため、最終的な利益は売り上げの伸びほど出ていない状況となっている。また、人手不足も顕著であり、受注の取りこぼしも発生している。人材確保に悩んでいる事業所も多い。生産性向上の取組みが必要であるとの声も寄せられている。

(長崎県諫早市商工会)

住宅建設工事の減少、建築資材の高騰、人件費の値上げ、人手不足で業況は悪化。

(大分県中津市しもげ商工会)

建設業関連の事業者は、各資材の仕入単価が高騰しているため、原価計算も不明瞭にもなり、採算が悪化している状況になっている。もともとどんぶり勘定になっている事業者も多く、採算が取れているかとれていないかわからず、運転資金が急に枯渇している事業者も多い状況にないっている。

(沖縄県うるま市商工会 石川支所)

## 4. 小売業

### <改善傾向を示すコメント>

観光関連の事業所の中には、利用者の7割は外国人観光客の場合があるとのこと。少し日本語が話せる人がほとんどであるが、スマホの翻訳機能を使いやりとりすることもある。食品関連は価格高騰が引き続いてるものの、若干落ち着きを見せている。

(秋田県仙北市商工会 田沢湖支所)

年度切り替えの新生活に向けた準備に伴う消費が増加する時期であった為、他の月と比較すると一定程度消費に結びついた月となった。また、飲食料品に関しては来月から値上げ品目が増えることから、値上げ前の駆け込み需要が発生するなどの顧客の消費動向が目立った月となった。来月はこれらの反動が想定される。また、備蓄米の放出により米穀の価格も下がると思われたが、依然として高止まりをみせている。

(福島県会津美里町商工会)

婦人服を扱う衣料品小売業は、今冬の大雪で客足が減っていたが、3月になり冬物春物が売れ、売上が回復。最近、仕入業者の廃業が増加している様子。仕入価格上昇しているが、販売価格には転嫁している。

(富山県富山市北商工会)

中古農機具販売業では、youtubeなどのSNSを活用して売上を伸ばしている事業者もいる。

(香川県高松市中央商工会)

耐久消費財関連業者は、地域の人口減少・高齢化が加速していることを受け従来の事業は10年後に限界を迎えると感じており、新たなサービスを展開しターゲットを事業所周辺から市内全域へ広げることを計画している。

(佐賀県唐津上場商工会 経営支援センター)

### <悪化傾向を示すコメント>

仕入価格の上昇はあるものの、消費者の行動内容に目立った変化はないコメントが多かったが、今後の見通しについては、不透明感あるいは悲観している。

(宮城県栗原南部商工会)

米の価格高騰及び需要の増加により米の小売に関しては著しく売上が増加しているが米の仕入れも高騰しているため、利益の幅は増加していないのが現状である。

(茨城県利根町商工会)

食料品小売業関連の事業者は、物価高の影響で消費者の節約志向が強まり、単価の安い商品に需要がシフトしている。加えて、人件費や電気代などのコスト負担も重く、資金繰りもやや悪化の傾向自動車販売関連の事業者は、新車の供給回復や中古車需要の堅調な推移により販売は回復傾向にあるが、車両仕入れ価格や物流コストがやや上昇しており、採算は改善しきれていない。金利の影響や購入控えの動きもあり、資金繰りは昨年と同程度。

(栃木県那珂川町商工会)

年度末の需要期で売上高は好調。仕入価格や諸経費の上昇により、収益体質改善が求められている。従業員雇用は、人手不足がちとなり賃上げが出来る事業所と出来ない事業所との格差が拡大傾向。

(群馬県みどり市商工会)

対象の事業者は飲食料品小売の移動販売事業で売上が前年同月(2月)と比較して3.4%減少、仕入も3.4%減少。2月は、冷凍食品やチルド麺などの加工食品やコメの価格高騰で値上げされている。

(神奈川県足柄上商工会)

食料品小売業では、野菜が高騰して1玉では売れないため、1/2や1/4にカットしてラップを巻いて販売している。ただでさえ人出不足であるのに、余計な手間や労力がかかってしまっている。物価高の影響なのか生鮮食品の売上が良くない。

(石川県門前町商工会)

原材料や梱包材などの高騰の影響があるが徐々に価格転嫁も進んでおり目立った影響はないように思える。春になり観光客も徐々に増えているが、商品価格の上昇が買い控えにつながる可能性も大いにある

(長野県小布施町商工会)

衣料品では、町の買い物事業の駆け込みにより売上は堅調。仕入れ単価は高止まり状態であり、水道光熱費も増加傾向で採算は不変。3月で買い物事業が終了するため、4月以降の売上が減少する懸念がある。食料品では、従業員の退職により人材確保に苦慮。商品の売れ行きに応じて仕入数量を調整し、廃棄ロス削減を図っている。耐久消費財では、売上は、伸びているが、仕入れの高止まりや諸経費の値上がりのため、経費の見直しを迫られている状況。資金繰りへの影響も感じはじめている。

(鳥取県大山町商工会)

物価高が長引いており、消費者の購買意欲の低下が伺える

(広島県五日市商工会)

省力・省人・デジタル化への興味があるが、特に小規模事業者においては資本や人材の観点から難しい。

(山口県山口県央商工会 秋穂支所)

小売業関連の事業者は、仕入単価が上昇しているが、価格転嫁できていない事業者も多く、苦しい状況になっている。

(沖縄県うるま市商工会 石川支所)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

学生の春休み期間ということもあり、春の季節も相まって、観光地は賑わいをみせている状況にある。インバウンド客も地方に於いては徐々に増えてきているようであり、売上も増加傾向にあるようである。季節変わりの時期や新年度への切り替え時ということもあり、季節的な要因で業界全体的に売上も増加傾向にあるようである。

(福島県会津美里町商工会)

理美容業に関しては、卒業式関係が昨年に比べ好調であったため、売上額も好調であった。

(茨城県桜川市商工会)

旅館業は、春休みの行楽で旅行需要増。米子ソウル便も3月末に増便になり、韓国からの観光客も土日関係なく増え始めた。県立美術館開館、北条倉吉道路開通に伴い人の流れが変わる気配を感じている。洗濯業は、春休みに入り、学校関連備品の需要は例年通りあるものの、気温の変動が激しく(3月下旬に雪が降ったり、夏日になったりと)衣替えのタイミングを迷う人が多いため、全体的なクリーニング依頼は例年より遅れている。理・美容業は、卒業・入学シーズンということもあり、予約も途切れず4月上旬まで埋まっている状況。旅行需要回復で遠出前の身だしなみ需要も高く、連休前まで高い需要は続く見込みである。

(鳥取県北栄町商工会)

旅館・宿泊業に関してはサウナやコワーキングスペースを設置し新規顧客開拓に繋げる取組も見られた。理美容業はお客さんが理美容に使うお金が増えている印象がある。一方で新規参入が多い業界であるため差別化に苦心している。ホットペッパービューティーからの来客が多いが、1回で他のところに行く人も多いためリピーター獲得も課題である。空港に近い飲食店は海外からの顧客が増えている。

(佐賀県佐賀市南商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

売上については、目立った増減は感じないが、コスト増は影響が大きい。この状況は継続する前提なので、断続的な価格転嫁など検討を進めているとの事。

(宮城県栗原南部商工会)

ビジネスホテルについては、リモートが普及したことで出張客減少。価格設定も少し値上げしたが物価高に对应できず、資金繰りは若干悪化傾向。

(山形県南陽市商工会)

美容業では、顧客ニーズの変化により来店顧客の年齢や性別が多様化されている。業界内の競争が激しく低価格料金と高付加価値によるサービス重視型に二分されている。低価格に設定した業者は利益獲得に苦慮している。

(群馬県しづかわ商工会)

人手不足のため働き手を募集しても集まらない。美容業では予約をお断りするケースがでてくる。

(山梨県甲斐市商工会)

天候不順により高足カニ漁の稼働日数が少なく不漁であった。また、例年であれば河津桜の観光需要の取り込みがあったが、こちらも開花が遅れ少なかった。そのため、観光関係、飲食関係は昨年に比べると、低調となってしまった声が聞かれた。

(静岡県沼津市商工会)

天候不順や黄砂等が原因で外に干せない日が続いていることから、洗濯業界は売上が伸びている。しかし、近年は大手コインランドリーやクリーニング店の進出により個人の洗濯業の資金繰りは難しくなっている。

(三重県伊勢小俣町商工会)

洗濯業については、天候不順の影響もあり、衣替えを待つ傾向にあり停滞している状況。来月は卒業式や入学式等の高級品の動きに期待したいとの声もある。理美容業については、物価高騰の影響で来店頻度が減少傾向にある。

(兵庫県丹波市商工会)

物価高も原価の少ない業種である為、影響は少ない状態にある。一方で、地域全体的にやや節約ムードが出てきており、やや売上げにも影響が出ている。最低賃金の上昇はあるものの、物価高の影響があるため、客足にも影響が出始めている。

(岡山県岡山北商工会)

販管費に係る経費が増加。美容業は周辺人口との相関性が高いため、新規サービスの展開が必要。

(山口県山口県央商工会 秋穂支所)

飲食関連のサービス業においては、3月期は観光客をはじめとする交流人口の増加により来店客数が増加し、提供商品の価格転嫁も進んだことから、売上は安定している。一方で、食材の仕入れ単価は上昇傾向にあり、今後の収益に対しては懸念が残る。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

旅館・宿泊所関連の事業者は、インバウンド需要は引き続き好調である。理美容業関連の事業者は、単価を上げてても顧客の来店頻度が長期化しており、売上増加には至っていない状況である。

(熊本県阿蘇市商工会)

宿泊業は利用客はあまり変動はないが、食材等が高騰。理美容業は顧客の高齢化により売上減少。

(大分県中津市しもげ商工会)